

2024年3月29日(金) 午前 口頭発表

| | A会場(橘) | B会場(萩) | C会場(白樺1) | D会場(白樺2) | E会場(小会議室1) | F会場(小会議室2) | G会場(小会議室3) | | |
|-------|---|---|---|--|------------|------------|---|---|-------|
| 9:00 | A-01○伊藤 貴太1、関口 貴大1、笠井 征希1、林 直孝1(1.OATアグリオ(株)) タバココナジラミに対するサポオイル剤の殺卵メカニズム | B-01○武藤 将道1、2、町田 龍一郎3(1.名城大・農、2.福島大・理工、3.筑波大・管平) コジマイシノミとは何か? : 内田一博士により記載された海岸性イシノミ <i>Halomachilis</i> の分類学的再検討に向けて (昆虫綱・イシノミ目・イシノミ科) | C-01○城塚 可奈子1(1.大阪環水研) 施設キュウリおよび施設内外雑草に生息するミナミキイロアザミウマの発生消長 | D-01○藤本 巧輝1、渡利 高大1、村上 祐貴2、幡本 将史1、熱海 良輔2、山口 隆司1(1.長岡技術科学大学、2.長岡工業高等専門学校) アメリカズアブを用いた酒粕処理モデルの構築 | | | G-01○Faten Abdelsalam Hamdi, Abdelsalam 1, Takeshi Suzuki 2(1.Post doctor, 2.Professor (Associate)) Effect of colloidal silica nanoparticles on survival and fecundity of the two-spotted spider mite, <i>Tetranychus urticae</i> Koch | 9:00 | |
| 9:15 | A-02○森戸 梓1、加嶋 崇之1、森 光太郎1、佐野 真喜子1(1.石原産業株式会社) ベミデタッチ®(アセチル化グリセリド乳剤)は薬剤抵抗性を発達させにくいのか? | B-02○富永 豪太1、中村 剛之2(1.岩手連大、2.弘前大・白神センター) 日本産チャノバネメカゲロウ属 <i>Micromus</i> (アミメカゲロウ目、ヒメカゲロウ科)に関する新知見 | C-02○安達 修平1、富高 保弘1(1.農研機構・植防研) 国内のキュウリに感染する9種ウイルスを判別可能なマルチプレックスRT-PCR法 | D-02○藤田 弥佳1、安田 哲也1、霧田 政美2、小林 徹也1(1.農研機構、2.東京大学) 鶏糞を飼料としたアメリカズアブ幼虫飼育 | | | G-02○杉本 晃一1、小嶋 篤史2、マーシャル ショーン3、ムーア アーリー4、山内 麻裕歩1、仲井 まどか1(1.東京農工大学、2.鳥と小動物の病院リトルバード / リトルバードラボ、3.アグリサーチ、4.グアム大学) Establishment of an oral inoculation method for <i>Oryctes rhinoceros</i> larvae and gross-pathology of nudivirus infection. | 9:15 | |
| 9:30 | A-03○高安 範1、森戸 梓1、佐竹 良和1、加嶋 崇之1、森 光太郎1、佐野 真喜子1(1.石原産業株式会社) ベミデタッチ®(アセチル化グリセリド乳剤)と既存化学農薬との混用処理でのチャノドリヒメコババイに対する防除効果 | B-03○朴 鎮亨1、屋宜 禎央1、広渡 俊哉1(1.九州大学 昆虫学研究室) ヒメツマオレガ <i>Dryadula epischista</i> (ヒロズコガ上科・マヒロズコガ科)に外観が類似した未記載種 | C-03○一志 貴斗1、小原 慎司1、手塚 俊行1(1.株式会社アグリ総研) タバコカスミカミに対する農薬の残効性評価方法の開発 | D-03○小林 徹也1、藤田 弥佳1、劉 家銘1、武田 晃司1(1.農研機構) 日本の冬期におけるアメリカズアブ飼育の問題点と改善法 | | | | G-03○飯田 愛実1、加藤 亜記1、太田 伸二1、大村 尚1(1.広島大院・統合生命) Nematicoid activity of diterpenoids from algae of the genus <i>Dictyota</i> against <i>Aphelenchoides besseyi</i> | 9:30 |
| 9:45 | A-04○萬屋 宏1(1.農研機構 植物防疫研究部門 金谷茶業研究拠点) アセチル化グリセリドによるチャノドリヒメコババイの行動制御 | B-04○澤田 昌恭1、吉澤 和徳1、大島 一正2(1.北大・農・昆虫体系、2.京都府大・院生命環境) トキノキを利用する <i>Cameraria</i> 属(鱗翅目: ホソガ科) 1未記載種および同属内でのムクロジ科植物利用の進化的背景に関する研究 | C-04○喜久村 智子1、興儀 喜代政1(1.沖縄農研究センター) 沖縄の露地キクにおける土着天敵利用の可能性 | D-04○大澤 英輝1、伊藤 健司1、手塚 俊行1(1.株式会社アグリ総研) クロマルハナバチ雄成虫粉末を用いたコロロギ飼育 | | | | G-04○LEM Ming Siang1, Nakano Ryo2, Nomura Masashi1(1.Chiba University, 2.NARO Institute) Behavioral response ultrasonic irradiation in simulated flight and oviposition of cabbage looper moth | 9:45 |
| 10:00 | A-05○坂巻 祥孝1、鈴木 智久2、野邊 勝郎3、吉田 光4(1.鹿児島大学・農学部、2.カワサキ機工株式会社、3.鹿児島県農業開発総合センター、4.株式会社 伊藤園) 蒸気防除がチャノドリヒメコババイ等へ与える影響(2年目) | B-05○荒島 弾1、屋宜 禎央2、広渡 俊哉2、外村 俊輔3、奥 耐平(1.九大院・生資環・昆虫、2.九大院・農・昆虫、3.徳島県立博物館) 宮野(2022)で報告されたハビロキバガ亜科(チョウ目: エグリキバガ科)3種の分類学的研究 | C-05○高田 裕司1(1.長崎県農林技術開発センター) ミヤコカブリダニが好むイチゴ株内の生息部位 | D-05○酒井 麻衣1、大原 裕也1、小林 公子1(1.静岡大院・食) ミズアブミールの加熱処理がゼブラフィッシュの摂餌行動と発育に及ぼす影響 | | | | G-05○勝野 智也1、世古 智一1、勾坂 晶1、村上 理都子1(1.農研機構・植防研) Further improvement of <i>Orius strigicollis</i> with extended giving-up time | 10:00 |
| 10:15 | A-06○角田 ひかり1、河名 利幸、大谷 徹1、久保 周子1(1.千葉農林総研暖地) 露地ビワにおける果実の大きさを指標とした果樹カメムシ類の防除適期 | B-06○鈴木 信也1、神保 宇嗣2、屋宜 禎央3、広渡 俊哉3(1.九大院・生資環・昆虫、2.国立科博・標本資料セ、3.九大院・農・昆虫) タテゲハマキガ族 <i>Schoenotenini</i> (チョウ目: ハマキガ科: ハマキガ亜科) の日本からの発見と <i>Homalermis</i> 属の分類学的再検討 | C-06○藤森 颯太1、今村 剛士2、今村 彩花2(1.奈良県農業研究開発センター、2.奈良県中部農林振興事務所) イチゴ促成栽培でのヒラズハナアザミウマ防除におけるクメリスカブリダニの放飼方法の検討 | D-06○岸 茂樹1、日下 石 碧1、田中 義弘2、徳積 智也2、加茂 綱嗣1(1.農研機構、2.鹿児島県農総セ) スズメガ類によるニガウリの送粉効率 | | | | G-06○古閑 将斗1、越川 滋行1, 2(1.北大院・環境科学、2.北大・地環研) Is the wingless expression necessary to the wing color pattern formation of <i>Drosophila guttifera</i> ? | 10:15 |

| | | | | | | |
|-------|---|--|---|--|---|-------|
| 10:30 | A-07○鹿子木 聡1(1. 鹿児島県農業開発総合センター) ミカンハダニ防除の高濃度少量散布化に向けた試み | B-07○川島 育海1、屋宜 禎央2、那須 義次3、広渡 俊哉2(1. 九大院・生資環・昆虫、2. 九大院・農・昆虫、3. 大工大・農・昆虫) イヌマキの葉に潜る <i>Makivora</i> 属(チョウ目: ハマキガ科) の日本からの1新種未記載種 | C-07○河津 圭1、服部 夏実1(1. 協友アグリ株式会社) エコビタ液剤のナミハダニ、カンザワハダニ、コナガ、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、トマトハモグリバエ雌成虫の産卵に対する阻害効果 | D-07○光畑 雅宏1、阿部 雄太1、広瀬 拓也1(1. アリスタライフサイエンス株式会社) 単為結果性品種ナスにおけるマルハナバチの利用効果(予報) | G-07○井上 巳新1、松尾 和典2(1. 九州大・共創、2. 九州大・比文) A taxonomic study of the genus <i>Gastrancistrus</i> (Hymenoptera: Pirenidae) parasitizing gall midges (Diptera: Cecidomyiidae) in Japan | 10:30 |
| 10:45 | A-08○楠畑 勇祐1、大園 賢志郎1(1. 鹿児島県農業開発総合センター) ドローン散布によるトビイロウンカの防除は朝の散布で防除効果が向上する | B-08○屋宜 禎央1、川北 篤2、広渡 俊哉1(1. 九大院・農・昆虫、2. 東大・理・植物園) 小笠原諸島で発見された <i>Heliozela</i> 属の1未記載種(チョウ目: ツヤコガ科) | C-08○山口 友莉香1、田中 千晴1(1. 三重農研) 殺ダニ剤と気門封鎖剤との混用処理によるナミハダニに対する防除効果 | D-08○宇佐見 享嗣1、2、河野 英也3、Austen Vic3、周戸 大季3、加藤 智紀3、山田 早人3、4、八木 亜樹子2、3、天池 一真1、3、Phung Quan2、3、藤本 和宏2、3、柳井 毅2、3、伊丹 健一郎2、3(1. 名大・高等研、2. 名大・WPI-ITbM、3. 名大院・理、4. 名大・IRCCS) ハスモンヨトウ幼虫を生体触媒に用いたナノカーボン材料の機能化 | G-08○ KALLESHWARASWAMY C M1、SIMON HELLEMANS1、ESRA KAYMAKI、THOMAS BOURGUIGNON1(1. OIST) Revision of Indian termite taxonomy based on mitogenome data | 10:45 |
| 11:00 | A-09○松本 匠哉1、川田 千瑛1、佃 晋太郎2、佐野 有季子3、中西 充1、山下 陽子3(1. 香川県農業試験場、2. 香川県農業経営課、3. 香川県東讃農業改良普及センター) ドローンによる青ネギの害虫防除効果の検討 | B-09○河野 勝行1、2(1. 東北農業試験場、2. 農研機構野菜花き研) 捕獲消長と交雑試験の結果からのキハラゴマダラヒトリとアカハラゴマダラヒトリの間の種の識別に関する検討(チョウ目: ヒトリガ科) | C-09○上杉 龍士1、中島 哲男2、下田 武志1(1. 農研機構・東北研、2. JA全農耕資部) データ駆動型「IPM支援システム」によるIPM技術支援の可能性 | D-09○坪田 拓也1、和泉 隆誠1、桑崎 誠剛1、上桑 明也1、横井 翔1、山本 公子1、瀬筒 秀樹1(1. 農業・食品産業技術総合研究機構) カイコ大造系統と日01号系統を利用した繭層歩合QTL解析 | G-09○Kensei Kikuchi1、Nobuaki Mizumoto1、2(1. OIST、2. Auburn University) Comparative Study of Termites in Japan: Individual termite movements reflect foraging strategy evolution | 11:00 |
| 11:15 | A-10○中島 優介1、徳丸 晋虫1(1. 京都府農林水産技術センター) ネギハモグリバエ幼虫のバイオタイプ間における薬剤殺虫効果の差 | B-10○荒井 周1(1. 東京農大・昆虫) シマカラスヨトウとオオシマカラスヨトウの識別と北日本における分布の再検討(チョウ目: ヤガ科) | | | G-10○中島 聖朗1、高田 守1、松浦 健二1(1. 京都大学昆虫生態学研究室) Anti-pathogenic defense via antibiotic-producing <i>Streptomyces inhabiting</i> nest materials in the dampwood termite <i>Hodotermopsis</i> | 11:15 |
| 昼休憩 | | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 |

2024年3月29日(金)午後 口頭発表

| | A会場(橘) | B会場(萩) | C会場(白樺1) | D会場(白樺2) | E会場(小会議室1) | F会場(小会議室2) | G会場(小会議室8) | |
|-------|---|---|--|---|---|---|--|-------|
| | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | |
| 13:30 | A-11○坂本 洋典1、橋本 佳明2、浅井 ひろみ3、Hui-Min LIN4、杉山 隆史5、佐々木 智基5、本多 佳子5、中嶋 信美1、五箇 公一(1.国環研、2.兵庫県立大、3.PRD、4.Monsters' Agrotech、5.フマキラー) 要緊急対処特定外来生物ヒアリの国内侵入状況および定着阻止技術開発の最先端 | B-11○江口 一馬1、中村 剛之1(1.弘前大・白神センター) 新たに確認されたホソキノコバエ科(ハエ目:キノコバエ上科)の日本未記録種と未記載種 | C-10○大林 隆司1(1.都農総研) 露地ナス栽培における土着天敵誘引用紫色LEDの効果実証栽培試験 | D-10○米津 聡浩1、2、東浦 祥光3、日本 典秀2、下八川 裕司1(1.高知県農業技術センター、2.京都大学大学院・農学研究所、3.山口県農林総合技術センター) ナスコナカイガラムシの捕食寄生者 <i>Anagrus californicus</i> の国内初記録とその発育期間 | E-01高塚 裕太1、金澤 尚希1、太田 伸二1、大村 尚1(1.広島大院・統合生命) キタキチョウによるカタバミに対する誤産卵の化学的根拠 | F-01○松井 悠樹1、2、中 秀司3、屋宜 禎央1、広渡 俊哉1(1.九州大院・農、2.鳥取大院・連農、3.鳥取大・農) シロモンノメイガとオガサワラシロモンノメイガの生態に関する知見 | G-11○金藤 菜1、矢野 修一1(1.京大院・農・生態情報) Serious agricultural pests <i>Tetranychus</i> spider mites are also disliked by inferior competitors | 13:30 |
| 13:45 | A-12○安藤 緑樹1、原口 大1、池川 雄亮1、2(1.沖縄防技セ、2.琉球産経) 津野島におけるアリモドキゾウムシの再発生に対する防除の現状と課題 | B-12○高橋 一男1(1.女神奈川大学) 発育環境がキイロショウジョウバエの翅干渉色パターンに与える影響 | C-11○加藤 綾奈1、玉川 陽菜2、大井田 寛2(1.東京都農林総合研究センター、2.法政大学生命科学部) 東京都の露地ナス栽培に有効な天敵温存植物種の選定および紫色LEDによるヒメハナカメムシ類の誘引 | D-11○廣田 溪琉1、手塚 俊行1、伊藤 健司1(1.株式会社アグリ総研) マルハナバチ成虫粉末を用いたナミテントウ飼育試験 | E-02○竹内 剛1、秋野 順治2、高崎 浩幸3(1.大阪公立大・農、2.京工織大・応生、3.日本蝶類学会) キアゲハのオスによる求愛行動を誘発する物質 | F-02○和智 伸是1、松井 悠樹2(1.琉球大・熱生研、2.九州大院・農) 西表島のマングローブでのハラナガノメイガ類(鱗翅目:ツトガ科)の発生消長 | G-12○松浦 輝尚1、宮竹 貴久1(1.岡山大院環境生命) Leg-biting male combat between giant mealworm decrease loser's fitness | 13:45 |
| 14:00 | A-13○三代 浩二1、相馬 幸博2、高橋 正和2、町田 真生2、川上 房男2、對馬 千佳子3(1.農研機構植防研、2.日本くん蒸技術協会、3.青森りんご研県南果樹部) 生果実に寄生するアウトウショウジョウバエに対する2種くん蒸剤の効果 | B-13○館 卓司1(1.九大院・此文・生物体系) 双翅目糸角亜目の後胸の比較形態 | C-12○下田 武志1、釘宮 聡一1、吉村 英翔1、上杉 龍士1、田淵 研1(1.農研機構) ムギリビングマルチによる天敵行動制御: ヒラタアブ類の産卵嗜好性と害虫捕食能力の評価 | D-12○水谷 信夫1、田中 彩友美1(1.農研機構・植防研) ハマグリミドリヒメコバチのトマキバガに対する捕食寄生行動 | E-03佐々木 良輔1、室智大2、中 秀司3、木内 隆史2、勝間 進2、○藤井 毅1(1.摂南大農・応用昆虫、2.東大院農・昆虫遺伝、3.鳥取大農・害虫研) トラップDへの飛来侵入個体は誰なのか? アアノメイガ類を対象とした野外調査の結果より | F-03○藤井 告1、後藤 聖士郎2、韋見 藤本1、屋宜 禎央1(1.九州大学大学院農学研究院、2.熊本県農業研究センター) クワコ繭およびカイコ繭トラップからのマダラトガリホソガの採集 | G-13○Jinyeong Choi1、Cong Liu1、Pradeep Palanichamy1、Yumiko Masukagami1、Filip Husnik1(1.OIST, Okinawa) Parallel evolution of Bacteroidota into highly integrated endosymbionts of scale insects (Hemiptera: Coccoomorpha) | 14:00 |
| 14:15 | A-14○大川 純司1、竹田 遼1、那嶋 浩志1、加藤 良晃1、Hodges Desirée2、吉永 英樹3、樋口 聡志4(1.BASFジャパン株式会社、2.BASF Corporation、3.熊本県農業研究センター、4.熊本県農林水産部) 新規浸透移行性殺虫剤ジンプロピリダズ(アクスアリオン®)の効果特性 | B-14○桑畑 直幸1、金尾 太輔2(1.山形大・院・理工、2.山形大・理・生物) 好白蠟性種ハネカクシにおける飛翔筋の喪失 | C-13○田淵 研1、吉村 英翔1、上杉 龍士1、下田 武志1(1.農研機構東北農研) おどりトラップによって捕獲されるヒラタアブ類の多発環境推定 | D-13○梅崎 勇次郎1、藤井 毅1、石川 幸男1(1.摂南大学・農) タイリクヒメハナカメムシの行動制御に利用可能な揮発性有機化合物の探索 | E-04○戒能 洋一1、服部 誠1、田端 純2、松山 茂1(1.筑波大学・生命環境、2.農研機構) ハマキコウラコメバチの寄生成虫性フェロモンへの反応 | F-04○小俣 良介1(1.埼玉県茶業研究所) ヒラタアトキリゴミムシ成虫の生活史とチャドクガ幼虫捕食量 | G-14○野田 智仁1、2、森山 実2、深津 武馬1、2、3(1.東京大学大学院理学系研究科、2.国立研究開発法人産業技術総合研究所、3.筑波大学大学院 生命環境科学研究科) On the vertical transmission of the cockroach endosymbiont <i>Blattabacterium</i> via oviduct infection in the German cockroach <i>Blattella germanica</i> | 14:15 |
| 14:30 | A-15○井村 岳男1(1.奈良県農業研究開発センター) 奈良県におけるヤガ科抵抗性害虫3種の殺虫剤感受性 | B-15○田作 勇人1、竹中 万紀子1、松井 晋1、丸山 宗利2(1.東海大・生物、2.九大博) シンジュウカラとコムクドリ の糞から得られた <i>Haploglossa</i> 属と <i>Hylota</i> 属(甲虫目:ハネカクシ科)の分類と生態 | C-14○伊藤 祐氣1(1.岐阜県農技セ) 岐阜県の露地エダマメにおけるスワルスキーカブリダニを利用したタバココナジラミ対策 | D-14高橋 孝太1、○藏 満 司夢1(1.筑波大学) 新規侵入昆虫ツマゾロクサヨトウはアワトウのスペシャリスト寄生蜂カマキリヤコムバチにとって evolutionary trap か? | E-05○釘宮 聡一1、池本 美都2、横井 智之2、平岩 将良3、前田 太郎3、手塚 俊行4(1.農研機構・植防研、2.筑波大・生命環境系、3.農研機構・農環研、4.農アグリ総研) 訪花昆虫に対するアニソール類の誘引性の検討 | F-05○都野 展子1(1.金沢大学) アメリカシロヒトリの生活史変化と個体群消滅の長期観測 | G-15○室 智大1、松井 悠樹2、中 秀司3、勝間 進1(1.東京大学、2.九州大学、3.鳥取大学) Intensive survey of <i>Wolbachia</i> infection across Japanese Pyraustinae and Spilomelinae moths | 14:30 |
| 14:45 | A-16○胸形 森1、金城 寛俊1、江口 浩喜1(1.MCCLS株式会社) イネカメムシの薬剤感受性に関する地域間比較 | B-16○野村 周平1(1.国立科学博物館) 日本および周辺地域におけるナガアリヅカムシ上族(ハネカクシ科アリヅカムシ亜科)の分類学的解明と課題 | C-15○徳丸 晋虫1、佐藤 孝2(1.京都府農林水産技術センター、2.秋田県立大学) 緑肥のすき込み処理が黒ダズエダマメのチョウ目害虫の発生に及ぼす影響 | D-15○西 優輔1(1.岡山農研) 促成栽培イチゴにおける微小害虫と天敵の動態 | E-06○若村 定男1、新垣 則雄2、大池 昌裕1、森山 太介1(1.京都先端科学大、2.沖縄県八重瀬町) 屋久島種子島以北のポウランは性的なだましと異なる送粉システムを持つ | F-06○菊原 勇作1(1.松山市役所) スマートフォン顕鏡で分かったサトウラギンヒョウモンとヤマウラギンヒョウモンの分布～愛媛県の事例～ | G-16 | 14:45 |

| | | | | | | | |
|-------|---|---|--|---|--|---|-------|
| 15:00 | A-17○尾山 智洋1、小出 良平2、塩谷 捺美1、大野 史佳1(1.石川農総研、2.奥能登農林総合事務所)フリージアに寄生するネダニ類を対象とした総合防除の検討 | B-17○菊地 那樹1(1.北大院・農)日本産エンマムシ上科(昆虫綱鞘翅目)の分類学的再検討と雌交尾器形態に基づく系統構築 | C-16○池之上 祐紀1、末永 博1(鹿兒島農総)アオゴムシ亜科の除去の有無および植生管理の有無が飼料用トウモロコシのツマジロクサトウ密度に及ぼす影響 | D-16○小原 慎司1、一志 貴斗1、杉山 友香1、手塚 俊行1(1.株式会社)施設栽培イチゴにおけるクロヒョウタンカスミカメを用いたヒラズハナアザミウマの防除 | E-07○三高 雄希1(1.テキサスA&M大学)地下性シロアリにおける集合フェロモンの種特異性 | F-07○松村 正哉1、矢代 敏久1、真田 幸代1(1.農研機構・植防研)ナガウカノ1種 <i>Stenocranus pacificus</i> の寄主植物、分布、および発生推移 | 15:00 |
| 15:15 | A-18上村 香葉子1、○伊丹 春衣1(1.福岡農林業総合試験場)脂肪酸グリセリドの混用によるアシナビル水和剤の殺ダニ効果の向上 | B-18○大原 昌宏1、安基晶2(1.北海道大学・総合博物館、2.韓国・忠南大学)朝鮮半島産エンマムシ科甲虫の分類学的再検討と日本産との比較 | C-17○岸本 英成1、屋良 佳緒利1、外山 晶敏1(1.農研機構植防研)省力化樹形栽培のリンゴにカブリダニ製剤を放飼したときのカブリダニ移動状況 | D-17○上里 卓己1、安次富 厚2、與儀 喜代政2、秋田 愛子2(1.沖縄病害虫防技セ、2.沖縄農研セ)天敵を利用した促成栽培ピーマン等施設内外の雑草に発生するカイガラムシ類 | E-08○安居 拓恵1、上地 奈美1、辻井(藤原)直1(1.農研機構・植防研)外来種ツヤハダゴマダラと在来種ゴマダラカミキリにおける雄の交尾相手の認識の違い:コンタクトフェロモンは機能しているのか | F-08○日室 千尋1、2、3、松山 隆志4、本間 淳1、2、3、池川 雄亮1、2、3、金城 聖良4、金城 美沙6、大石 毅5(1.沖縄県病害虫防除セ、2.琉球産経(株)、3.琉球大学農学部、4.沖縄県農研セ、5.沖縄県森林資源研セ、6.沖縄県農研セ名護)沖縄県におけるサツマイモ害虫3種(アリモドキゾウムシ、イモゾウムシ、サツマイモメイガ)の野生寄主植物であるノアサガオにおける空間分布と利用様式 | 15:15 |
| 15:30 | A-19○西野 眞由1、三森 理史1、大矢 武志1、山我 岳史1、加藤 雄太2、中島 哲男2(1.JA全農営技セ、2.JA全農耕種資材部)イチゴにおける薬剤散布ノズルの使用方法と葉面付着量の関係 | B-19○井上 広光1(1.農研機構・植防研)日本産ムツボシキジラミ属(カメムシ目:キジラミ科)の分類学的検討 | C-18○中村 傑1、高橋 佳大1、中村 淳1(1.福島県農業総合センター果樹研究所)福島県のモモ栽培におけるウメシロカイガラムシとクワシロカイガラムシの同時防除の検討 | D-18○向井 環1、千嶋 宏平1、青木 由美2(1.富山県農林水産部農経)富山県におけるネギハモグリバエの土着寄生蜂相とその発生消長及び寄生率 | E-09○西森 敬晃1、今野 浩太郎1(1.農研機構)クワ耐虫タンパク質 MLX56の毒性影響に対するカイコの非感受性について | F-09○谷山 克也1、田中 一裕2(1.株式会社グリラス、2.宮城学院女子大学)日長がハマスズの卵休眠と幼虫期間に与える影響 | 15:30 |
| 15:45 | A-20○三森 理史1、西野 眞由1、大矢 武志1、下田 周平1、山我 岳史1、中島 哲男2、加藤 雄太2(1.JA全農営技セ、2.JA全農耕種資材部)イチゴへのスピロテトラマト水和剤灌注処理前の最終灌水の時間が及ぼす影響について | B-20○松村 洋子1、2、Wencke Krings1、3、Alexander Kovalev1、Stanislav N. Gorb1(1.Kiel University、2.北海道大学・昆虫体系学、3.Hamburg University)外傷性授精に使われるトコジラミ <i>Cimex lectularius</i> の把握器の挿入メカニクス | C-19○池田 亜紀1、衛藤 友紀2(1.佐賀果樹試(現佐賀農試セ)、2.佐賀果樹試)カンキツのナシマルカイガラムシに対する4月のプロフェジン水和剤とマシン油乳剤ならびにパラフィン系展着剤の混用散布が防除効果に及ぼす影響 | D-19山田 千聖1、関口 実里2、山中 聡2、3、○日本 典秀1(1.京大院・農・生態情報、2.アリストライフサイエンス、3.現:クロップマネジメントラボ)スワルスキーカブリダニとリモニカスカブリダニの併用はアザミウマ類防除効果を高めるか?室内および圃場試験による考察 | E-10遠藤 有希子1、田中 未来1、谷村 香織1、出崎 能丈1、上村 卓夫1、小澤 理香2、Maffei Massimo3、新屋 友規4、Galís Ivan4、○有村 源一郎1(1.東京理科大・先進工、2.京都大・生態研、3.トリノ大、4.岡山 大・IPSR)宿主と環境の変化において防御応答の調整を担うハダニエンリター・テトラニン | F-10○新垣 則雄1、砂川 博秋(1.八重瀬町)宮古島において異時的出現・交尾時間帯を持つ二つのリュウキュウウロコガネ個体群の分布状態 | 15:45 |
| 16:00 | A-21○岡田 浩一(1.バイエルクロップサイエンス(株))モメント®アブラムを用いた、キャベツ栽培における農業用無人車のモモアアブラムシ防除に対する適用性評価 | B-21佐久 董1、○諸岡 歩希1(1.茨城大学)旧世界に産するアシナガバチ亜科のオス交尾器形態とその多様化 | C-20○楠本 みさき1、本間 淳1、2、久岡 知輝1、2(1.沖縄県病害虫防除技術センター、2.琉球産経株式会社)誘殺板を用いた防除が石垣島のミカンコミバエ種群侵入個体群に与えた影響 | D-20○矢野 栄二(1.奈良市)多食性捕食者タバコカスミカメによるタバココナジラミとミナミキアザミウマの同時防除は可能か? | E-11○鈴木 有穂1、石栗 陽一2、森 直樹1、吉永 直子1(1.京都大学大学院・農、2.青森りんご試)モモシンクイガ幼虫による食害でりんご果実に誘導される化合物の動態解析 | F-11堀尾 奈々子1、中原 花菜1、○綱島 彩香1、2、糸山 享1(1.明治大・農、2.法政大・生命)静岡県におけるツヤアオカメムシに寄生するヤドリバエ <i>Cylinromyia petiolata</i> の世代経過の推定 | 16:00 |
| 16:15 | A-22○西末 浩司1、杉浦 綾2、中野 亮3、渋谷 和樹3、福田 信二1、2(1.東京農工大学、2.農研機構農情研、3.農研機構植防研)時系列3次元(3D)点群のドローン図を用いた方の飛翔姿勢推定と簡易指標 | B-22○菅原 有真1、井上 広光1、土 田 聡1、田端 純1、2(1.農研機構・植防研、2.筑波大学・生命環境)アザレアコナカイガラムシ性フェロモンに誘引される天敵寄生蜂の分類学的検討 | C-21○高橋 佳大1、中村 傑1、中村 淳1(1.福島県農業総合センター果樹研究所)ツヤハダゴマダラカミキリのリンゴとトネノキに対する選好性の調査 | D-21○末吉 昌宏1、福井 修二2(1.森林総合研究所、2.鳥根県地域振興部)国内外におけるトマトキバガの薬剤感受性動向 | E-12○真田 幸代1、秋田 岳1(1.農研機構植防研)国内外におけるトマトキバガの薬剤感受性動向 | F-12○野間 健吾1、西村 知良1(1.日大・生物資源)ジンガサハムシの化性と休眠に対する発生時期の影響 | 16:15 |
| 16:30 | A-23○遠藤 梨々花1、堀 雅敏1、山本 和久2、藤 寛2(1.東北大院・農、2.阪大・レーザー研)青色レーザー光のアザミウマ、アブラムシに対する殺虫効果および殺虫技術としての有効性 | B-23○廣瀬 勇輝1、藤江 隼平2(1.東京農大・昆虫、2.大阪自然史博)日本産 <i>Aspicarpus</i> 属(コムユバチ科:ヒメフナガラコムユバチ亜科)の分類学的再検討 | C-22○有本 誠1、肥後 雄一1、2、北島 裕紀1、織田 はるか1、天野 貴之1、岩泉 連1、3(1.横浜植防、2.現在:横浜植防成田支所、3.現在:横浜市)トマトキバガとジャガイモガのマルチプレックスPCRによる識別法の開発 | D-22○浦野 忠久1、砂村 栄力2、福森 郁哉3(1.森林総研関西支所、2.森林総合研究所、3.大和化学工業(株))クビアカツヤカミキリ穿入材に対するサビマダラオオホソカラムシ卵放飼試験 | E-13○刑部 正博1(1.京都市)ナミハダニ染色体における殺ダニ剤抵抗性遺伝子の分布 | | 16:30 |

| | | | | | | | | |
|-------|--|---|--|--|--|--|-------|-------|
| 16:45 | A-24○齋藤 美樹1、佐藤 翠音1(1.道総研中央農試) 青色LED照射によるダイズのマメシクイガ被害抑制効果 | B-24○松浦 公平1、細石 真吾1、PHAM Hong Thai2(1.九州大学、2.ベトナム国立自然史博物館) 日本産カレバラアリ類に近縁と思われるベトナム産の数種について(ハチ目アリ科) | C-23○本間 淳1、2、3(1.沖縄県病害虫防技社、2.琉球産経株式会社、3.琉大・農) ミトコンドリアハプロタイプ情報をを用いたアリモドキゾウムシ再発生状況の把握と根絶の判定法 | D-23○松田 直樹1、白井 雄1、高橋 桃世1、日本 典秀1、大門 高明1(1.京大・院農) DIPA-CRISPR法を用いたタイリクヒメハナカメシのゲノム編集技術の開発 | E-14○渋谷 和樹1(1.農研機構植防研) フタスジヒメハムシの飼育法について | | | 16:45 |
| 17:00 | | B-25○境 侑花1、佐々木 郁弥2、3、住田 歩夢3、平江 雅宏2、米田 洋斗4、東浦 祥光5、藤岡 龍生1、松尾 和典6(1.九大共創、2.農研機構、3.鳥取大院、4.(株)クボタ、5.山口農総セ、6.九大院比文) イネカメムシ(カメムシ目:カメムシ科)の設置卵塊からチャバネクロタマゴバチ(ハチ目:タマゴクロバチ科)を発見 | C-24○北野 大輔1(1.滋賀農技センター) トラップ設置環境によるスクミリンゴガイ捕獲効率の差異 | D-24○佐藤 大樹1(1.森林総合研究所) 東京都八王子市内の小河川における昆虫疫病菌類の発生消長 | | | | 17:00 |
| 17:15 | | B-26○松尾 和典1、Pan Liang-Yu2、Tung Gene-Sheng2(1.九大院比文、2.TFRRI) ユーカリ類にゴールを形成するヒメコバチ(ハチ目)の台湾への侵入 | C-25○大野 豪1、細川 理恵2(1.沖縄農研セ・石垣支所、2.沖縄病害虫防除セ・八重山駐在) 八重山地域の水田におけるカメムシ類の種構成 | D-25○小野 雅弥1、前田 安信2、Li Xiaolan3、鶴田 慈音1、吉田 朱美2、菊地 泰生1(1.東大院・新領域、2.宮崎大・医、3.浙江大・農) 線虫注入後の鱗翅目昆虫におけるトランスクリプトーム解析 | | | 17:15 | |
| 17:30 | | B-27○阿部 芳久1、井手 竜也2、鄒 垂嬌3(1.九大院・比文、2.科博・動物、3.九大院・地球社会) 一部の個体が長期休眠をする労働寄生蜂(タマゴバチ科)の未記載種を首都圏で発見 | C-26○八塚 拓1、西條 圭祐1、小林 則夫1(1.茨城農総セ農研) 茨城県のイネカメムシ成虫に対する各種薬剤の残効性 | D-26○Kim Jae Su1、Lee Mi Rong1、Kim Sihyeon2、Park Taehyun2(1.Jeonbuk National University, 2.FarmHannong Inc.) Developmental strategy for Beauveria bassiana ERL836 GR and WP for thrips management | | | 17:30 | |
| 17:45 | | B-28○Eko Andrianto1、Yasushi Sato2、Jessica Adelaide Kapojos2、Norihide Hinomoto1(1.GSA, Kyoto University, 2.NIFTS, NARO) Rediscovery of <i>Amitus hesperidum variipes</i> (Hymenoptera: Platygasteridae) in Japan after more than 90 years of disappearance | | | | | 17:45 | |

2024年3月30日(土)午前 口頭発表

| | A会場(橘) | B会場(萩) | C会場(白樺1) | D会場(白樺2) | E会場(小会議室1) | F会場(小会議室2) | G会場(小会議室8) | |
|-------|--|---|--|--|---|------------|--|-------|
| 9:00 | A-25○広岡 佑太1、日野 聖也1、中野 昭雄1(1.徳島農総技センター) ネット被覆によるクビアカツヤカミキリの成虫拡散阻止効果の検証 | B-29○長 泰行1(1.千葉大院・応用昆虫) 托卵するミヤコバクリダニは寄主卵の捕食に対して産卵嗜好性を変える | C-27○石川 博司1、濱頭 葵2、石井 直樹1(1.愛知県農業総合試験場) 2.海部農林水産事務所) 愛知県内のイネカメムシに対するエチプロール水和剤の感受性低下について | D-27○山我 岳史1、星 信幸2、青山 良一3、森 亮太3(1.JA全農宮城支社) 2.JA全農耕種総合対策部、3.JA全農耕種資材部) 宮城県の子実とうもろこし栽培におけるアワノメイガに対する殺虫剤防除の効果 | E-15○白藤 梨可1、佐藤 成子1、鈴木 宏志1(1.帯畜大・原虫研) 原虫感染マダニにおける卵黄タンパク質前駆体の役割 | | G-16○磯村 晃良1、細井 栄嗣2(1.山口大・農、2.山口大・大学院創成科学研究科) ライトトラップによるニホンヤマネ <i>Girulus japonicus</i> の生息地における昆虫相調査と食物としての利用可能性 | 9:00 |
| 9:15 | A-26○衣浦 晴生1、高梨 琢磨2、中島 太郎3、松島 一司4(1.森林総合研究所、2.森林総合研究所東北支所、3.足利市、4.足利市役所) 野外におけるクビアカツヤカミキリ成虫の振動による行動制御 | B-30○鈴木 誠治1、八尾 泉1(1.北大院・農) ヨツボシモンシデムシのオスによる子育ては托卵を防げるか? | C-28○平江 雅宏1、佐々木 郁弥1(1.農研機構 植防研) イネ科植物に対するイネカメムシの寄主適合性 | D-28○窪田 聖一1、中村 篤史2、小川 翔也2、浜田 拓弥1(1.愛媛農水研、2.愛媛防除所) 愛媛県におけるトマトキバガの発生状況と薬剤感受性 | E-16○後藤 哲雄1、Beard J. J.2、Beaulieu F.3、Knee W.3(1.流通経済大学、2. Queensland Museum、3. Agriculture & Agri-Food Canada) コウノアケハダニ <i>Eotetranychus asiaticus</i> の分類学的検討 | | G-17○池上 真木彦1(1.国立環境研究所琵琶湖分室) 外来アリと在来アリが利用する気候ニッチと土地利用ニッチの比較 | 9:15 |
| 9:30 | A-27○児玉 洋1、中野 元文1、林 修司1、○犬飼 佳代1、高城 圭子1(1.日本農業株式会社) クビアカツヤカミキリに対するメタフルミゾン(アケセル®)の効果特性 | B-31○伊藤 元春1、○松尾 隆嗣1(1.東大・農) 単婚性の進化におけるオス由来物質の役割 | C-29○田中 千晴1、平江 雅宏2(1.三重県農業研究所、2.農研機構・植防研) イネカメムシ雌成虫の羽化後日数と卵巣の発達程度との関係 | D-29○須藤 正彬1(1.農研機構・植防研) 物体検出モデルによる茶園のチャノホソガ幼虫の齢構成推定 | E-17○元吉 真衣1、塩田 あづさ1、畑 俊男1(1.千葉県農林総合研究センター) 千葉県におけるアブラナ科寄生性シストセンチュウ <i>Heterodera cruciferae</i> の発生 | | G-18○岸本 圭子1、綿引 大祐2、豊田 光世3(1.龍谷大・先端理工、2.東京農大・農、3.新潟大・佐渡支) 棚田耕作放棄地における捕食性節足動物の生息状況を考慮した管理について | 9:30 |
| 9:45 | A-28○上地 奈美1、高梨 琢磨2(1.農研機構・植防研、2.森林総合・東北支所) クサギカメムシ用トラップ Shido Trapを用いた茨城県と岩手県におけるカメムシの捕獲状況 | B-32○久保田 耕平1、張 勝男1、2(1.東京大学・農、2.安徽農業大学) ルリクワガタ属の産卵痕の意義とは? -産卵行動の観察と産卵痕の分布- | C-30○住田 歩夢1、竹松 葉子2、東浦 祥光3(1.鳥取大学大学院連合農学研究所、2.山口大学創成科学研究科、3.山口県農林総合技術センター) 冷凍卵設置調査によるイネカメムシの卵寄生蜂の探索 | D-30○佐々木 郁弥1、柴 卓也1、松倉 啓一郎1(1.農研機構 植物防疫研究部門 病害虫防除支援技術グループ) 飼育に依存しない発育速度パラメータの推定手法の検討 | E-18○井上 貴裕1、2、國貞 葉菜子1、2、水谷 恵子1、吉田 知生1、稲垣 歩3、上野 崇寿3、小田 憲司1、川田 逸人2、辻 尚利2、古川 集士2、八田 岳士2(1.生物科学安全研究所、2.北里大院・医、3.大分工業高等専門学校) ワクモの効率的な駆除に向けた誘引効果試験 | | G-19○本林 隆1、馬場 海帆1、日鷹 一雅2(1.東京農工大・農、2.愛媛大学院・農) 種感受性分布(SSD)を活用した水田の水生昆虫群集に対する育苗箱処理剤の生態リスク評価Ⅱ-新規ワカ防除トリフルメゾリウムを中心に- | 9:45 |
| 10:00 | A-29○高梨 琢磨1、Avosani Sabina1、2、小林 知里1、3、向井 裕美1(1.森林総合研究所、2.フリップル大、3.東北大) 振動によるキノコバエ類の行動制御とシタケ栽培の害虫防除への応用 | B-33○前野 浩太郎1(1.国際農研) サバクトビバッタにおける密度依存的な繁殖システム | C-31○世戸口 貴宏1、岩 卓也1(1.農研機構植物防疫研究部門) 乾燥種子を使用したイネカメムシの累代飼育法 | D-31○山崎 敦夫1、岩崎 杉紀1(1.防衛大学校) ハイパースペクトルセンサを用いたバッタの検出:室内実験による検証 | E-19○細谷 忠嗣1(1.日本大学生物資源科学部) 動物園のニスコーティングされた糞標本を食害したナガヒョウホンシの事例 | | G-20○町田 禎之1、虻川 巧生2、清田 浩二3(1.(株)建設環境研究所、2.北上川下流河川事務所、3.宮城教育大学) 東日本大震災後の北上川水系におけるヒヌマイトトンボの保全と河口の昆虫相の変化 | 10:00 |
| 10:15 | A-30○大江 高穂1、関根 崇行1、駒形 泰之1、小野寺 隆一2、阿部 翔太2、高梨 琢磨3(1.宮城県農業・園芸総合研究所、2.東北特殊鋼(株)、3.森林総研) 振動とタバコカミカメを組み合わせたトマトのオンシツコナジラミ密度抑制-現地生産施設と試験圃場における実証- | B-34○光永 貴之1、村上 理都子1、長坂 幸吉1(1.農研機構・植防研) ナケルクロアブラバチは雌雄産み分けをどのような情報から判断しているのか? | C-32○本田 善之1、東浦 祥光1(1.山口県農林総合技術センター) 水面散布することでトビイロウナカ防除に有効な油剤の開発1 | D-32○岩橋 祐太1、八瀬 順也1(1.兵庫県農林総合センター) わかってきたイネカメムシの行動生態 | | | G-21○矢崎 英盛1、沖田 耕一2(1.東京都立大学・動物生態、2.聖光学院中学校高等学校) 昆虫採集体験から始める生態学入門-中高生に向けたネイチャーガイドと科学コミュニケーションの融合の試み- | 10:15 |
| 10:30 | A-31○大矢 武志1、阿部 弘文2、金満 伸央3、廣橋 寿祥2、安部 洋4(1.JA全農、2.日本ワイドクロス、3.共立電照、4.理研BRC) 赤色防虫ネットを被覆・育苗したトマト苗はアザミウマ類に対する密度抑制効果を示す | B-35○西谷 光平1、三田 敏治2(1.九大院・生農環・昆虫、2.九大院・農・昆虫) 捕食寄生者が寄主に運ばれるのは攪乱環境への適応か?:飛べない寄生蜂クロハラカマバチの繁殖関連形質に寄主の齢期と性別が及ぼす影響 | C-33○宮田 穂波1、高橋 淳1(1.埼玉県茶業研究所) 茶園におけるナシシロガカイガラムシの発生消長及び薬剤感受性の検討 | D-33○紙谷 聡志1(1.九州大院・農) 粘着トラップに捕殺されたサシバエの機械学習を用いたモニタリング | | | | 10:30 |

| | | | | | | | | |
|-------|---|--|---|--|--|--|--|-------|
| 10:45 | A-32○岩本 哲弥1、本田 善之1(1.山口県農林総合技術センター)おとり植物と忌避剤、気門封鎖剤を組み合わせたいチゴのアザミウマ類防除体系について | B-36○田中 幸一1、松尾 和典2、村田 浩平3(1.つくば市, 2.九大院比文, 3.東海大農)外来昆虫ブタクサハムシの寄生蜂を発見 | C-34○山本 敦司1, 8、土井 誠2, 8、井口 雅裕3, 8、野田 隆志4, 8、山我 岳史5, 8、刑部 正博6, 8、田中 千晴7, 8(1.日本曹達(株), 2.静岡農林技研, 3.和歌山かき・もも研, 4.日植防, 5.JA全農, 6.京都市, 7.三重農研, 8.殺虫剤抵抗性対策TF)飛来性害虫トビイロウンカの殺虫剤抵抗性リスク評価 | | | | | 10:45 |
| 11:00 | A-33○宮下 裕司1、梶原 千郷1、松岡 基憲1(1.愛媛県農林水産研究所果樹研究センター)ミカンキイロアザミウマの薬剤感受性検定手法の検討 | B-37○岸本 年郎1(1.ふじのくにミュージアム)小笠原諸島における外来生物が在来昆虫に与える影響と対策の現状 | C-35○山本 優一1、原口 岳1、城塚 可奈子1(1.大阪環水研)クビアカツヤカミキリの侵入・定着リスクが高い地点の特徴 | | | | | 11:00 |
| 11:15 | A-34○東田 景太1、武田 千秋1、森 光太郎1、佐野 真喜子1(1.石原産業株式会社)殺虫剤シクラニプロールに関する研究(第11報)-カンキツのアザミウマ類に対する果実被害抑制効果- | B-38○徳田 誠1(1.佐賀大・農)伊豆諸島北部および伊豆半島のスタジイタマバエ:10年間の密度変化 | C-36○久岡 知輝1, 2、本間 淳1, 2, 3(1.琉球産経(株), 2.沖縄県防技セ, 3.琉大・農)ミカンコミバエ種群は個体群によって配偶相手を選び好む | | | | | 11:15 |
| 11:30 | | | C-37本間 淳1, 2, 3、○池川 雄亮1, 2, 3、日室 千尋1, 2, 3(1.琉球産経(株), 2.沖縄防技セ, 3.琉大・農)地上出現前交尾がイモゾウムシの不妊虫放飼の防除効果に与える影響 | | | | | 11:30 |

2024年3月31日(日)午前 口頭発表

| | A会場(橘) | B会場(萩) | C会場(白樺1) | D会場(白樺2) | E会場(小会議室1) | F会場(小会議室2) | G会場(小会議室8) | |
|-------|---|---|--|---|------------|------------|--|-------|
| 9:00 | A-35○高田 悠太1、西塔 心路3、大坪 和香子1、布施 直之2、市之瀬 敏晴3、4、谷本 拓3、堀 雅敏1(1.東北大院・農、2.東北大院・薬、3.東北大院・生命、4.東北大・学際科学フロンティア研究所) 青色光毒性を用いた人為選抜が駆動した <i>Drosophila melanogaster</i> における "Acetobacter"共生菌-脂質代謝に関する表現型"の進化 | B-39○富田 尚道1(1.元 群馬県公立中学教諭) オペリスク姿勢postureは放熱ポーズpose—サーモグラフィ—観察による検証— | C-38○藤岡 春菜1、佐賀 達矢2(1.岡山大学・環境生命、2.神戸大学・院人間発達環境) オオスズメバチの幼虫は"鳴き"続ける | D-34○松倉 啓一郎1、世戸口 貴宏1(1.農研機構・植物防疫研究部門) トマトキバガの低温耐性:室内試験での検討 | | | G-22○竹中 將起1、岡本 聖矢2、東城 幸治1(1.信州大・理、2.土木研・自然共生研究センター) 同一河川に共存するモンカゲロウ属(カゲロウ目)2種の系統進化—近縁2種間における種分化と交雑の歴史— | 9:00 |
| 9:15 | A-36○大鷲 友多1、南斗真2、菊地 泰生3、4、吉田 朱美3、中野 亮平2、5、陰山 大輔1、安達 鉄矢2(1.農研機構・生物研、2.宮崎大・農、3.宮崎大・FS、4.東京大院・創成、5.静岡農林技研) 捕食性天敵タバコカスミカメの細菌叢解析 | B-40○宮田 恵佑1、村井 保1(1.(株)アグリコック研究所) カドマルカツオブシムシ <i>Dermestes haemorrhoidalis</i> Küsterの発育と産卵 | C-39○小坂 肇1、佐山 勝彦1、神崎 菜摘1、牧野 俊一1(1.森林総合研 阪大院・理) スズメバチ女王から新たに発見された寄生バチの生態と分類 | D-35○宇賀神 篤1、宮下 伶1、2、尾崎 克久1(1.JT生命誌研究館、2.阪大院・理) ミカン科食アゲハ幼虫におけるフラノクマリン応答性cytochrome P450遺伝子の機能解析 | | | G-23○倉西 良一(1.神奈川工科大学) 東北地方の酸性河川に出現するナガトビケラの種分化仮説 | 9:15 |
| 9:30 | A-37○西出 雄大1、汪 垂運2、鈴木 隆太郎2、森 浩禎3、柿澤 茂行2、深津 武馬2(1.農研機構、2.産業技術総合研究所、3.広州農業技術院) ASKA barcode libraryを用いたカメムシに共生しやすい大腸菌の探索 | B-41○曾根 蒼太1、宮竹 貴久1(1.岡山大院・環境生命) コクヌストモドキを用いた研究室系統と野外系統の飛翔行動の比較 | C-40○西村 正和1、久保 良平1、小野 正人1、2(1.玉川大・ミツバチ科学、2.玉川大・院・農) チャイロスズメバチ (<i>Vespa dybowskii</i>)の警戒フェロモン成分の同定 | D-36○長峯 啓佑1、粥川 琢巳1、田中 良明1(1.農研機構・生物研) シロイチモジトウヨウから発見されたチョウ目特異的な新規Asteroidファミリー遺伝子 | | | G-24○中村 涼1、池田 敏士1、久保田 耕平1(1.東大院・農) 日本列島における <i>Asiopoecilus</i> 属(甲虫目ジョウカイイボ科)の種多様化プロセス | 9:30 |
| 9:45 | A-38○陰山 大輔1、西出 雄大1、渡部 賢司1、畠山 正統1、レノゾ フランソワ1(1.農研機構・生物研) 外来ボルバキア起因の母性効果によって引き起こされる胚発生阻害 | B-42○上野 尚久1、高橋 佑磨1(1.千葉大・院・農山正統)、レノゾ フランソワ1(1.農研機構・生物研) キイロショウジョウバエの個体群動態において遺伝的多様性が果たす機能 | C-41○住宮 義隆1、佐々木 哲彦2(1.玉川大院・農、2.玉川大・学術) ニホンミツバチのオオスズメバチに対する防御行動として塗布される物質について | D-37○中里 優吾1、大瀧 文二1(1.琉球大学) チョウの翅組織におけるH2O2の挙動と色模様との関係 | | | G-25○星崎 杉彦1、日下部 良康2(1.東大・農、2.横浜市) 形態測定による、セダカコブヤハズカミキリ地理的変異の再検討 | 9:45 |
| 10:00 | A-39小西 楓1、高松 巧1、伊藤 克彦1、新井 大2、○井上 真紀1(1.農工大・農、2.農研機構) 細胞質不適合を引き起こすボルバキアに対する宿主応答 | B-43○宮崎 洋祐1、田中 一裕2、渡康彦3(1.芦屋大・経営教育、2.宮城学院女子大・一般教育、3.芦屋大・臨床教育) 異なる温度差の温度サイクルに対するタマネギバエの羽化の同調:温度位相反応曲線を用いた説明 | C-42○原野 健一1、小野 正人1、佐々木 哲彦1(1.玉川大学ミツバチ科学研究センター) ミツバチの門番がもつ燃料と対スズメバチ防衛戦略の関係:二種間比較 | D-38○沼沢 良太1、大橋 ひろ乃1、櫻井 健志1(1.東農大・農) 光刺激に対するタイリクヒメハナカメムシの応答行動の解析 | | | G-26○三田 敏治1(1.九大院・農・昆虫) 日本のクロマダラカマバチは2系統に分けられる(ハチ目カマバチ科) | 10:00 |
| 10:15 | A-40○森山 実1、深津 武馬1(1.産総研) カメムシ科昆虫における後脚を用いた共生細菌の新奇な垂直伝達行動 | B-44○香取 郁夫1、細川 雄平1、那 健太1、坂本 貴海1(1.近畿大学) ある種のチョウの幼虫に見られる頭部突起の適応的意義 ~フタオチョウ幼虫の硬い頭部突起の役割に関する「天敵からの防御」仮説の検証2~ | C-43森上 絢加1、○佐々木 謙1(1.玉川大・農) クロマルハナバチの脳の特異性:ドーパミン濃度のカーブ差とその役割 | D-39○飯田 菜生1、大橋 ひろ乃1、田中 啓介2、櫻井 健志1(1.東農大・農、2.東情大・総情) タイリクヒメハナカメムシにおける化学感覚受容関連遺伝子の探索 | | | G-27○細石 真吾1、Rosli Hashim2、Heng Sokh3(1.九大熱研センター、2.マラヤ大学、3.カンボジア林野庁) アリ植物共生の東南アジア産シリアゲアリ類にみられる系統多様化と形態進化 | 10:15 |
| 10:30 | A-41○汪 垂運1、金井 雄樹2、津留 三良2、古賀 隆一1、古澤 力2、深津 武馬1(1.産総研、2.東大院理) IS増幅進化実験によるラボ大腸菌から高度な共生細菌への進化 | B-45○仁平 岳登1、鈴木 紀之1(1.高知大学) 捕食回避戦略の異なるアゲハチョウ類幼虫における微生物環境選択の違い | C-44○秋野 順治1、島海 岳志1(1.京都工芸繊維大学) 大量動員を行うトビロケアリの斥候が巣仲間へ伝える情報を探る | D-40○吉田 一貴1、矢代 敏久1(1.農研機構 植物防疫研究部門) リアルタイムPCRを利用したセジロウカの雌雄判別法 | | | G-28○金尾 太輔1(1.山形大・理) 好白蟻性ハネカクシの進化とシロアリにおける社会性の複雑化 | 10:30 |

2024年3月31日(日)午後 口頭発表

| | A会場(橘) | B会場(萩) | C会場(白樺1) | D会場(白樺2) | E会場(小会議室1) | F会場(小会議室2) | G会場(小会議室8) | |
|-------|--------|--|---|--|------------|------------|---|-------|
| | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | 昼休憩 | |
| 13:30 | | B-48○浴野 泰甫1、新屋 良治1(1.明治大学) マツノサイセンチュウは触覚によって摂食行動を開始・制御する | C-47○土田 浩治1、佐山 勝彦2、諸岡 歩希3(1.岐阜大学, 2.森林総合研究所, 3.茨城大学) オセアニアに分布拡大したフタモンアシナガバチの生態的特性 | D-44Lauren Gill1、Katie Marshall1、○宇高 寛子2(1.Univ. of British Columbia, 2.京都大学・院理) 陸生軟体動物チャコウラナメクジにおける凍結耐性メカニズム | | | G-32○上樂 明也1、桑崎 誠剛1、富澤 優衣2、相澤 美里3、園田 昌司2(1.農研機構・生物機能, 2.宇都宮大・農, 3.香川県・防除所) 国内の産雌型ネギアザミウマ系統におけるピレスロイド剤抵抗性原因遺伝子変異 T929L/K1774Nの由来推定 | 13:30 |
| 13:45 | | B-49○松原 慧1(1.道総研・道南農試) ヒメトビウカ幼虫の落下後行動 —うまく着水して天敵から逃れられるか | C-48○佐藤 正都1、宮崎 亮1, 2(1.産総研・生物プロセス, 2.産総研・OIL) 腸内細菌保持のコスト—セイヨウミツバチ腸内細菌は宿主の生存率を低下させる | D-45○萩原 翠唯那1、相垣 敏郎1、坂井 貴臣1、朝野 維起1(1.都立大・院理) キチン結合性をもつ弾性タンパク質: resilinの機能と架橋メカニズムの解析 | | | G-33○成 書絃1、姜 時友2(1.神奈川保健福祉大, 2.山形大院) キロシヨウジョウバエ 個体別活動測定システムを用いた雌性先熟表現型の解析 | 13:45 |
| 14:00 | | B-50○吉田 達也1、長泰行1(1.千葉大園芸) 捕食者の生理状態がナミハダニの忌避反応に及ぼす影響 | C-49○大河原 恭祐1、大籠 幸治2(1.金沢大学, 2.日本製紙クレシア) ルリアリのカートンへの破損行動 —なぜ紙を齧るのか?— | D-46○笠原 駿輔1、榎 来悟1、萩原 佳輔1、木村 将大2、加藤 学3、景山 心悟3、生田 智樹3、松野 研4、大野 修1(1.工学院大学先進工, 2.東京工科大学応生, 3.(株)山田養蜂場, 4.安田女子大学薬) スズメバチに含まれるキチナーゼ阻害剤の単離、合成と機能解明 | | | G-34○千頭 康彦1、大津 樹2、道羅 英夫1, 3、後藤 寛貴1, 2(1.静岡大・理, 2.静岡大・創科技院, 3.静岡大・グリーン研) ハマバハサミムシ <i>Anisolabis maritima</i> から見出された性決定遺伝子 <i>doublesex</i> のエキソ重複 | 14:00 |
| 14:15 | | B-51○矢野 修一1(1.京都大学大学院 農学研究科 生態情報開発学分野) アリの足跡はカブリダニによるハダニ制御を妨げないようだ | C-50○松浦 健二1、田崎 英祐2、三高 雄希4、高橋 豊3、Waliullah A.S.M. 3、Tamannaa Zinat3、坂本 匠3、Islam Ariful 3、Kamiya Masaki 3、佐藤 智仁3、荒牧 修平3、菊島 健児3、堀川 誠5、Nakamura Katsumasa 3、華表 友暁3、高田 守1、瀨藤 光利3(1.京都大学大学院農学研究科, 2.新潟大学理学部, 3.浜松医科大学, 4.Texas A&M Univ., 5.広島大学) ロイヤルフードの世界初解明: シロアリの王と女王は何を食べているのか? | D-47Achmad Gazali1、小林 功1、新津 修平2、○杉本 貴史1(1.農研機構・生物機能, 2.東京都立大・理学研究科) チョウ目昆虫で遺伝的メスを検出するW染色体特異的DNAマーカー探索の試み | | | G-35○山本 大介1、水島 大貴1、加藤 大智1(1.自治医大・医・医動物学) ハマダラカにおいて <i>doublesex</i> 遺伝子の雄型産物は唾液腺の発達を抑制する | 14:15 |
| 14:30 | | B-52○橋本 佳明1、遠藤 知二2、山崎 健史1、兵藤 不二夫3、市岡 孝朗4、MELENG Paulus5、GUMAL Melvin6(1.兵庫県立大学, 2.神戸女学院大学, 3.岡山大学, 4.京都大学, 5.Forest Department Sarawak, 6.Sarawak Forestry Corporation) アリグモは、擬態モデルのアリ種に反応して行動を変える | | | | | G-36○大出 高弘1(1.京大院・農) 高効率遺伝子組換えを利用したフタホシオロギ生体内におけるエンハンサーの時空間的活性の調査 | 14:30 |

| | | | | | | | |
|-------|--|--|--|--|--|--|-------|
| 14:45 | B-53○川越 葉澄1、市岡 孝朗1、Meleng Paulus2、Gumal Melvin3、4、清水 加耶5(1.京都大学、2.サラワク州森林局、3.サラワク州森林公社、4.スウィンバーン工科大学、5.島根大学) アリ植物 <i>Macaranga bancana</i> の共生アリにおける葉上の個体数に対する宿主植物の大きさの影響 | | | | | | 14:45 |
| 15:00 | B-54○米谷 衣代1(1.近畿大学・農学部) 植物上に形成される節足動物の群集集合を環境DNAを用いて観察する | | | | | | 15:00 |
| 15:15 | B-55○天野 史子1、森信之介2、光畑 雅宏3、横井 智之1(1.筑波大・保全生態、2.慶應義塾大学・理工、3.アリストライフサイエンス株式会社) リンゴ園の送粉サービスに関わるマメコバチの花資源利用実態の解明 | | | | | | 15:15 |
| 15:30 | B-56○古川 あずさ1、井手 洋一1(1.佐賀農試セ) キャベツにミミズ類が侵入する環境要因の探索 | | | | | | 15:30 |
| 15:45 | B-57○城田 安幸1、佐藤 悠平1、城田 創1(1.医果同源りんご機能研) 有機認証を得たりんご園に於ける動物たち、りんごを食べるがみかんは食べない | | | | | | 15:45 |

2024年3月29日(金)学生会員 ポスター発表 コアタイム【奇数:11:30~12:30, 偶数:12:30~13:30】

| 講演番号 | タイトル | 著者 | 所属機関 |
|---------|---|--|---|
| PS01-01 | ツノゼミにおけるヘルメットの形態比較と相同点の検討 | ○杉浦 幹太 ¹ 、寺野 天掌 ² 、千頭 康彦 ¹ 、後藤 寛貴 ¹ | 1.静岡大学, 2.東京大学 |
| PS01-02 | 黒色を呈する昆虫の赤外線反射機能 | ○山口 泰生 ¹ 、高久 康春 ¹ | 1.東農大院・農 |
| PS01-03 | マルムネアリアドリ属(甲虫目:ハネカクシ科)の分類学的再検討と地理的分布 | ○野崎 翼 ¹ 、丸山 宗利 ² | 1.九大院・生資環・昆虫, 2.九大博 |
| PS01-04 | カブトムシの角における大きさや形状の相関選択 | ○神田 旭 ¹ 、武末 大毅 ² 、小島 渉 ¹ | 1.山口大院・創成科学, 2.山口大・理 |
| PS01-05 | ネットアイオカメコオロギをモデルとした頭部新奇形質の発生メカニズムの探索 | ○米田 瑞穂 ¹ 、森田 慎 ^{1,2,3} 、新美 輝幸 ^{2,3} 、大出 高弘 ¹ | 1.京大院・農, 2.基生研・進化発生, 3.総研大・先端学術 |
| PS01-06 | カブトムシの角発達を引き起こすインスリン様ペプチド(ILP)の探索 | ○荻 陽菜子 ¹ 、岸野 紘大 ¹ 、岡田 泰和 ¹ | 1.都立大院・理 |
| PS01-07 | クワガタムシ科におけるメス化遺伝子 <i>transformer</i> の遺伝子重複 | ○大津 樹 ¹ 、近藤 颯人 ¹ 、千頭 康彦 ¹ 、道羅 英夫 ¹ 、後藤 寛貴 ¹ | 1.静岡大学 |
| PS01-08 | 昆虫の尾角は真の付属肢か？ —フタホシオオロギを用いた再検討— | ○松下 詠太郎 ¹ 、大出 高弘 ¹ | 1.京大・農 |
| PS01-09 | カメノコハムシ類特有の扁平縁形成の遺伝的メカニズム解明 | ○黒木 隼平 ¹ 、荻 陽菜子 ² 、岡田 泰和 ¹ | 1.都立大・理・生命, 2.都立大院・理・生命 |
| PS01-10 | 夜間人工光がショウジョウバエの幼虫の発生とオスの生殖能力に与える影響 | ○高本 龍真 ¹ 、高橋 佑磨 ² | 1.千葉大・理, 2.千葉大院・理 |
| PS01-11 | 北琉球・中琉球に分布するウエノツヤドロムシ <i>Urumaelmis uenoi</i> (コウチュウ目:ヒメドロムシ科)と近縁属 ツヤドロムシ属 <i>Zaitzevia</i> の分子系統地理 | ○吉田 匠 ¹ 、林 成多 ² 、竹中 將起 ³ 、東城 幸治 ³ | 1.信州大学大学院・総合理工学, 2.ホシザキグリーン財団, 3.信州大・理・生物 |
| PS01-12 | 洞窟性チビゴミムシ類における遺伝子の退化と多面発現の関係 | ○丹伊田 拓磨 ¹ 、越川 滋行 ^{1,2} | 1.北大院環境科学, 2.北大院地球環境 |
| PS01-13 | コクヌストモドキにおける雌の産卵場所拡散活性と産仔数の関係 | ○山河 文留 ¹ 、松村 健太郎 ² | 1.香川大院・農, 2.岡山大院 |
| PS01-14 | どのような配列の変化がミズタマショウジョウバエに模様をもたらしたのか？ | ○柄澤 匠 ¹ 、越川 滋行 ^{1,2} | 1.北大院環境科学, 2.北大院地球環境 |
| PS01-15 | ハチジョウノゴリクワガタは何者なのか？ ~ゲノム生態学的手法によるアプローチ~ | ○岸野 紘大 ¹ 、若宮 健 ¹ 、井戸川 直人 ¹ 、岡田 泰和 ¹ | 1.都立大・院理 |
| PS01-16 | 次世代シーケンサを用いた効率的マイクロサテライト解析: ネギアザミウマでの適用例 | ○工藤 達実 ¹ 、Hsu Po-Wei ¹ 、村上 翔大 ¹ 、土畑 重人 ¹ | 1.東大・総合文化 |
| PS01-17 | 近縁な寄主植物に非対称な局所適応を示す植食性テントウ集団は寄主特異的な集団遺伝構造を示すのか？ | ○中曾根 大輝 ¹ 、松林 圭 ² 、藤山 直之 ³ | 1.山形大院・理工, 2.酪農大・環境, 3.山形大・理 |
| PS01-18 | 琉球列島におけるシロオビアゲハ翅形状の島嶼間比較 | ○鈴木 智大 ¹ 、吉岡 秀陽 ² 、加藤 三歩 ² 、辻和希 ^{1,2} | 1.鹿大・連農, 2.琉大・農 |
| PS01-19 | マダラケシツブゾウムシを用いた昆虫側のゴール形成機構解明のためのRNA干渉法の有効性の検証 | ○井野 隆一郎 ¹ 、荻 陽菜子 ¹ 、佐野 遥太 ¹ 、横道 彩夏 ¹ 、別所-上原 奏子 ² 、土田 努 ¹ | 1.富山大学, 2.東北大学 |
| PS01-20 | 中性河川と酸性河川の沿岸における地表性節足動物相の比較と環境要因の影響 | ○山田 遼 ¹ 、大寺 真菜 ² 、金尾 太輔 ¹ | 1.山形大・理, 2.山形大院・理工 |
| PS01-21 | 近縁ハムシ3種間における利用資源の嗜好性をもたらす対立関係の検討 | ○野村 夏希 ¹ 、笠井 敦 ² | 1.岐阜連大, 2.静岡大・農 |
| PS01-22 | ハイロゲンゴロウにおける雄の吸盤と交尾行動の関係の検証 ○竹内成太(香川大・農)・松村健太郎(岡山大・農) | ○竹内 成太 ¹ 、松村 健太郎 ² | 1.香大・農, 2.岡大・農 |
| PS01-23 | 捕食者にはハラビロカマキリの白斑は見えていない | ○萩原 絢子 ¹ 、田口 綾乃 ² 、石川 忠 ² 、小山 哲史 ¹ | 1.農工大院・動物行動, 2.東京農大・昆虫 |
| PS01-24 | コクヌストモドキ雄の父性に対する加齢と交尾経験の影響 | ○川上 怜也 ¹ 、松村 健太郎 ² | 1.香川大院・農, 2.岡山大・農 |
| PS01-25 | 市民農園で採集された地表徘徊性甲虫類の生態 | ○田中 則政 ¹ 、渋谷 園実 ¹ 、松下 範久 ¹ 、福田 健二 ¹ | 1.東大院・農 |
| PS01-26 | 深層学習を用いた昆虫の3次元追跡アルゴリズムの開発 | ○森 大佑 ¹ 、速水 裕樹 ² 、藤本 泰文 ² 、後藤 勲 ³ | 1.宮城大院・食産, 2.伊豆沼財団, 3.宮城大・食産 |

| | | | |
|---------|---|--|--|
| PS01-27 | 植物は食害特異的なスペクトルの光シグナルを発するの | ○千野 陽平 ¹ 、米谷 衣代 ² 、上船 雅義 ³ | 1.名城大院・農・昆虫、2.近畿大・農・昆虫、3.名城大・農・昆虫 |
| PS01-28 | 幼生生殖タマバエの野外における利用資源 | ○尾崎 一天 ¹ 、古川 晶啓 ² 、澤島 拓夫 ³ 、葛西 弘 ¹ 、矢野 文士 ² 、徳田 誠 ⁴ | 1.近畿大院・農、2.佐賀大院・農、3.近畿大・農、4.佐賀大・農 |
| PS01-29 | 傷ついた仲間由来の抽出物に晒されたハダニは防衛網から分散する | ○久保 潤利 ¹ 、秋野 順治 ² 、矢野 修一 ¹ | 1.京大院・農・生態情報、2.京工繊大・応生 |
| PS01-30 | 温度上昇下で殺虫剤が水域生態系に与えるトップダウン効果の検証 | ○石若 直人 ¹ 、平岩 将良 ² 、早坂 大亮 ² | 1.近畿大学大学院農学研究科、2.近畿大学農学部 |
| PS01-31 | 潜葉性昆虫クルマホソガの卵の背腹軸の重要性 | ○近藤 陽香 ¹ 、小野 肇 ¹ 、大島 一正 ^{2,3,4} | 1.京大・農、2.京都府大院・生命環境、3.京都府大・新自然史セ、4.京都府立植物園 |
| PS01-32 | 線虫胎生化の進化的駆動力解明に向けた糞虫便乗線虫の生活史調査 | ○池田 雄哉 ¹ 、新屋 良治 ¹ | 1.明治大学・農 |
| PS01-33 | 光る?光らない? マダラガ科幼虫の蛍光色解析 | ○西尾 怜香 ¹ 、石原 亨 ² 、新村 瑠里 ^{2,3} 、中秀 司 ² | 1.鳥取大院・持、2.鳥取大・農、3.農研機構・植防研 |
| PS01-34 | ナナフシ目昆虫の産卵行動にナラ枯れが及ぼす影響 | ○佐々木 岳 ¹ 、齋藤 朗子 ¹ 、山脇 千雅 ¹ 、尾崎 嘉信 ¹ 、山下 多聞 ¹ | 1.島根大・生資 |
| PS01-35 | 亜社会性昆虫ベニツチカメムシは雌雄で飛翔行動が異なる | ○栗田 桃萌 ¹ 、奥園 元晴 ¹ 、徳田 誠 ¹ | 1.佐賀大学 |
| PS01-36 | キロショウジョウバエにおいて個体の攻撃性が集団の採餌効率に与える影響 | ○戸高 倫太郎 ¹ 、高橋 佑磨 ² | 1.千葉大・理、2.千葉大・院・理 |
| PS01-37 | 寄生されたコナガ幼虫は捕食者の攻撃を回避できるか? | ○泉 裕隆 ¹ 、矢野 修一 ² | 1.京大・農・生態情報、2.京大院・農・生態情報 |
| PS01-38 | 空腹度と光波長、光強度がコナガコムバチの光応答に及ぼす影響 | ○服部 峻 ¹ 、千野 陽平 ² 、上船 雅義 ¹ | 1.名城大・農、2.名城大院・農 |
| PS01-39 | 幼生生殖タマバエの自然環境下における生態の解明 | ○矢野 文士 ¹ 、古川 晶啓 ² 、Ayman Elsayed ² 、尾崎 一天 ³ 、澤島 拓夫 ⁴ 、徳田 誠 ² | 1.佐賀大院・農、2.佐賀大・農、3.近大院・農、4.近大・農 |
| PS01-40 | コアオハナムグリによるソバの花の利用実態 | ○伊藤 孝輔 ¹ 、永野 裕大 ² 、横井 智之 ¹ 、宮下 直 ² | 1.筑波大学・保全生態、2.東京大学・農 |
| PS01-41 | ヤガにおける複眼の明暗順応と産卵行動との関係および寄生認識における触角の役割 | ○石渡 翔悟 ¹ 、堀 雅敏 ¹ | 1.東北大院・農 |
| PS01-42 | 世代交番をするタマバチ(膜翅目)の両性世代と単性世代の卵成熟様式の比較 | ○鵜 亜嬌 ¹ 、楠見 淳子 ² 、阿部 芳久 ² | 1.九大・院・地球社会、2.九大・院・比文 |
| PS01-43 | 捕食寄生性線虫シベンチュウにおける高次寄生 | ○藤森 友太 ¹ 、新屋 良治 ¹ 、神崎 菜摘 ² | 1.明治大学農学研究科 植物線虫学研究室、2.森林総合研究所 関西支所 |
| PS01-44 | カブリダニの共食いは過大評価? | ○道浦 真明 ¹ 、矢野 修一 ¹ | 1.京大院・農・生態情報 |
| PS01-45 | フキバッタ類における交尾姿勢と生殖器形態の左右性の検討 | ○村田 桃香 ¹ 、藤山 直之 ¹ | 1.山形大・理・生物 |
| PS01-46 | カメノコハムシ類の同所的共存における生息場所隔離と行動的隔離の寄与 | ○鈴木 しゅん ¹ 、藤山 直之 ¹ | 1.山形大・理・生物 |
| PS01-47 | ヒユ科食カメノコハムシ類3種間の不完全な隔離障壁 | ○田村 慧悟 ² 、藤山 直之 ¹ | 1.山形大・理、2.山形大院・理工 |
| PS01-48 | キイカブリダニ母親の日齢が卵の保護行動に与える影響 | ○新開 翼 ¹ 、長 泰行 ¹ | 1.千葉大・応用昆虫 |
| PS01-49 | ニシキリギリスにおける鳴き声の役割および同期メカニズムの検証 | ○田村 匠 ¹ 、中野 亮 ² 、藤原 一旭 ³ 、中秀 司 ³ | 1.鳥取大学・院持、2.農研機構、3.鳥取大・農 |
| PS01-50 | コクヌストモドキ類2種における武器形質の有無が種間相互作用に及ぼす影響 | ○大西 流偉 ¹ 、松村 健太郎 ¹ 、宮竹 貴久 ¹ | 1.岡山大院・環境生命 |
| PS01-51 | サッポロフキバッタのレース間交配が雌の再交尾に及ぼす影響 | ○桑井 詩帆 ¹ 、熊野 了州 ¹ | 1.帯広畜産大院・昆虫生態 |
| PS01-52 | データベース上の画像を用いた後肢振り上げ行動を示す日本産コガネムシ科昆虫の探索 | ○山本 花葉 ¹ 、小長谷 達郎 ¹ | 1.奈良教育大 |
| PS01-53 | 飛翔性および腐肉食性昆虫のロードキルのホットスポットは道路灯下に存在する | ○牛島 健輔 ¹ 、弘中 満太郎 ¹ | 1.石川県立大院・応用昆虫学 |
| PS01-54 | 外来植物の利用が絶滅危惧種クロツバメシジミの翅色と配偶行動に与える影響 | ○久井 花恋 ¹ 、矢後 勝也 ³ 、上田 昇平 ² 、平井 規央 ² | 1.大阪府大・生命、2.大阪公大院・農、3.東大総研博 |
| PS01-55 | ハダニのオスは一見無駄な多回交尾をなぜ行うのか | ○和田 朋美 ¹ 、矢野 修一 ¹ | 1.京大院・農・生態情報 |
| PS01-56 | 昆虫と脊椎動物の双方と共生可能な腸内共生細菌の探索 | ○谷口 輝明 ^{1,2} 、古賀 隆一 ² 、森山 実 ² 、福田 真嗣 ⁴ 、深津 武馬 ^{1,2,3} | 1.筑波大、2.産総研、3.東京大、4.慶応大 |
| PS01-57 | ヤマヨツボシオオアリにおける共生ウイルスの基礎生態 | ○岡田 英李香 ¹ 、小山 哲史 ¹ | 1.東京農工大・農 |

| | | | |
|---------|---|--|------------------------------------|
| PS01-58 | チャバネアオカメムシにおける共生細菌と人工共生進化大腸菌の競争感染実験 | ○蔡 雯瑾 ^{1,2} 、森山 実 ² 、古賀 隆一 ² 、深津 武馬 ^{1,2,3} | 1.筑波大学, 2.産総研, 3.東京大学 |
| PS01-59 | オスゴロシウイルス感染による脱皮ホルモンの攪乱 | ○高松 巧 ¹ 、謝 肖男 ² 、井上 真紀 ¹ | 1.東京農工大・連合農学, 2.宇都宮大・バイオ |
| PS01-60 | 外来種マツヘリカメムシにおける <i>Rickettsia</i> の感染状況 | ○松本 くるみ ¹ 、古賀 隆一 ² 、細川 貴弘 ¹ | 1.九州大学, 2.産業技術総合研究所 |
| PS01-61 | キタキチョウの共食いによる共生細菌ボルバキアの水平伝播の可能性について | ○松本 陸 ¹ 、吉川 元貴 ¹ 、小長谷 達郎 ¹ | 1.奈良教育大 |
| PS01-62 | マダラケツブゾウムシの多種生物間相互作用: 細菌との共生を中心として | ○佐野 遥太 ¹ 、村上 涼生 ¹ 、鶴嶋 涼 ¹ 、杉本 凌真 ¹ 、土`田 努 ¹ | 1.富山大学 |
| PS01-63 | コクゾウムシをモデルとした、内部共生系の機能を阻害する新規防除資材の開発 | ○萩 明日花 ¹ 、土方 優和 ¹ 、土`田 努 ¹ | 1.富山大学 |
| PS01-64 | ナラ枯れとカシノナガキクイムシの共生微生物叢との関係解明 | ○加賀 櫻子 ¹ 、吉田 智弘 ¹ 、井上 真紀 ¹ | 1.農工大・農 |
| PS01-65 | メス化ボルバキアがオス化を引き起こす? —石垣島のミナキキチョウにおけるオス化の性状解析— | ○石田 圭 ¹ 、松原 顕 ¹ 、宮田 真衣 ^{1,2} | 1.福井大・工, 2.福井大・ライフサイエンスイノベーションセンター |
| PS01-66 | 細胞内共生細菌による雌性単為生殖化機構の探索 | ○大畑 裕太 ¹ 、杉本 貴史 ² 、田上 陽介 ³ | 1.岐阜大学大学院, 2.農研機構・生物機能, 3.静岡大学 |
| PS01-67 | イラクサギンウワバに感染する2系統の <i>Wolbachia</i> のMLST解析 | ○池松 悠希 ¹ 、野村 昌史 ² | 1.千葉大・園芸・応用昆虫, 2.千葉大院・園芸・応用昆虫 |

| 講演番号 | タイトル | 著者 | 所属機関 |
|---------|--|--|--|
| PG01-01 | 沖縄島より確認された <i>Pseudococcus</i> 属の1未記載種について | ○田中 宏卓 ^{1,2} 、Choi Jinyeong ³ | 1.九大・博物館, 2.愛媛大・農, 3.沖縄科学技術大学院大学 |
| PG01-02 | 画像解析を用いた虫こぶ形態多様性を規定する植物側・昆虫側要因の探索 | 高良 力樹 ¹ 、田村 光平 ² 、○別所-上原 奏子 ³ | 1.東北大・理, 2.東北アジア, 3.東北大院・生命 |
| PG01-03 | コオロギをモデルとした昆虫の白色スクレロチン合成酵素遺伝子のメラニン生成制御機能の解析 | ○井上 慎太郎 ¹ 、渡邊 崇人 ^{1,6} 、藤江 快 ² 、島村 彩音 ² 、石丸 善康 ³ 、宮脇 克行 ¹ 、高橋 章 ⁴ 、二川 健 ⁵ 、三戸 太郎 ¹ | 1.徳島大・BIRC, 2.徳島大・院創生科学, 3.徳島大・院社会産業理工, 4.徳島大・院医歯薬・予防環境栄養, 5.徳島大・院医歯薬・生体栄養, 6.株式会社グリラス |
| PG01-04 | マイマイガ雑種第1世代にみられる性転換現象の分子基盤について | ○鈴木 雅京 ¹ 、庄司 輝介 ¹ 、笠原 良太 ² 、中秀司 ³ | 1.東大院・新領域, 2.順天堂大院医, 3.鳥取大・農 |
| PG01-05 | フタホシコオロギにおけるクチクラ色素合成に関わる遺伝子の機能解析 | 岸 伸旺 ¹ 、○渡邊 崇人 ^{2,3} 、井上 慎太郎 ² 、濱口 汰暉 ¹ 、石丸 善康 ⁴ 、宮脇 克行 ² 、高橋 章 ⁵ 、二川 健 ⁶ 、野地 澄晴 ³ 、三戸 太郎 ² | 1.徳島大・院創成科学, 2.徳島大・BIRC, 3.(株)グリラス, 4.徳島大・院社会産業理工, 5.徳島大・院医歯薬・予防環境栄養, 6.徳島大・院医歯薬・生体栄養 |
| PG01-06 | ヒゲカタアリツカムシ属と近縁属の分類と系統(甲虫目:ハネカクシ科) —好蟻性種および好白蟻性種の進化— | ○井上 翔太 ^{1,2} 、丸山 宗利 ² | 1.東京都立大学, 2.九州大学総合研究博物館 |
| PG01-07 | 近畿地方におけるクビアカツヤカミキリの遺伝構造 | ○田村 繁明 ¹ | 1.森林総研 |
| PG01-08 | オンブバッタの緑色型と褐色型の自切率 | ○井出 純哉 ¹ | 1.久留米工大 |
| PG01-09 | ハマベゾウムシが生息する海浜環境の特徴および脚の形態について | 脇 悠太 ² 、山本 悠渡 ³ 、○松村 健太郎 ¹ | 1.岡山大院・環境生命, 2.香川大院・農, 3.愛媛大院・連合農学 |
| PG01-10 | ワタアブラムシの3タイプ胎生雌虫におけるユリでの内的自然増加率について | ○奈良井 祐隆 ¹ 、村井 保 ² | 1.島根県農業技術センター, 2.アグリクリニク研究所 |
| PG01-11 | 類似の”剪定”枝産卵を行うハムシとゾウムシ植物の茎防衛メカニズムと行動の適応的意義における共通性・特異性を探る— | ○小林 知里 ^{1,2} 、高田 悠太 ¹ 、岩崎 航 ² 、丸山 真一朗 ² 、浜端 朋子 ² 、高橋 迪彦 ² 、中山 卓朗 ² 、若宮 健 ² 、池本 篤史 ² 、河田 雅圭 ² | 1.東北大・農, 2.東北大・生命科学 |
| PG01-12 | 都市の夜の明るさがニクバエの休眠に及ぼす影響 | ○向井 歩 ¹ | 1.摂南大・理工 |
| PG01-13 | 奈良県に侵入したアルゼンチンアリの個体群タイプと分布・分散パターン | ○早坂 大亮 ¹ 、加藤 顕進 ^{1,2} 、平岩 将良 ¹ 、澤島 拓夫 ¹ | 1.近畿大学・農学部, 2.国交省・近畿地整 |
| PG01-14 | 人工飼料を用いた、スナムグリヒョウタンゾウムシ(コウチュウ目:ゾウムシ科)の室内累代飼育 | ○荒木 祥文 ¹ 、松林 圭 ² 、安藤 俊哉 ^{3,1} | 1.京大院・農・応用生物科学, 2.酪農学園大・農食環境学群・環境共生学類, 3.京大・白眉 |
| PG01-15 | カツオブシムシ類の生態解明と発生調査方法の研究 | ○阿部 清文 ¹ 、大村 和孝 ¹ 、住田 裕行 ¹ 、山口 寛正 ¹ 、橋本 明香里 ¹ 、平野 衿子 ¹ | 1.横浜植防 |
| PG01-16 | シリアゲムシ類(Mecoptera: Panorpidae)で観察された幼虫期の死にまね行動について | ○石原 凌 ¹ 、松村 健太郎 ² 、宮竹 貴久 ² | 1.信州大学理学部, 2.岡山大学農学部 |
| PG01-17 | カブトムシ <i>Trypoxylus dichotomus</i> が示す採餌リズムの測定 | ○左倉 和喜 ¹ | 1.基生研・進化発生 |
| PG01-18 | ゴマダラカミキリの寄主転換と行動・生活史戦略の変容 | ○深谷 緑 ¹ 、矢島 豪太 ¹ 、羽部 優衣 ¹ 、岩田 隆太郎 ¹ | 1.日本大学生物資源科学部 |
| PG01-19 | 凍結保存されたスピロプラズマを用いたナミテントウにおけるオス殺し実験 | ○小林 功 ¹ 、陰山 大輔 ¹ | 1.農研機構 生物機能利用研究部門 昆虫利用技術研究領域 |
| PG01-20 | タバコナジラミ菌細胞の <i>ex vivo</i> 培養系の確立 | ○渡邊 和代 ¹ 、粥川 琢巳 ¹ 、藤原 亜希子 ² | 1.農研機構・生物研, 2.群馬大・食健康センター |
| PG01-21 | 昆虫との細胞内共生に必要な共生細菌遺伝子の探索 | ○竹下 和貴 ¹ | 1.秋田県大・生物資源 |
| PG01-22 | 昆虫-大腸菌共生進化実験で得られた宿主適応度を改善する進化大腸菌株のゲノム解析 | ○杉山 隆雅 ¹ 、汪 亞運 ² 、森山 実 ² 、古賀 隆一 ² 、深津 武馬 ^{1,2} | 1.東大院・理, 2.産総研 |
| PG01-23 | 越冬期におけるニホンミツバチの後腸細菌叢の特徴 | ○鈴木 亮彦 ¹ 、坂本 佳子 ¹ | 1.国立環境研究所・生物多様性領域 |
| PG01-24 | IoT巣箱によるセイヨウミツバチの夜間行動の解析 | ○畦元 祐也 ¹ 、芳山 三喜雄 ¹ 、荻原 麻理 ¹ | 1.農研機構畜産研究部門 |
| PG01-25 | ミツバチヘギイタダニ寄生がセイヨウミツバチ群に与える影響 | ○荻原 麻理 ¹ 、畦元 祐也 ¹ 、芳山 三喜雄 ¹ | 1.農研機構・畜産研 |
| PG01-26 | 蜂の子食文化の生態学: シダクロスズメバチの餌生物と市民による飼育実践 | ○佐賀 達矢 ¹ | 1.神戸大学大学院人間発達環境学研究科 |

| | | | |
|---------|---|--|---|
| PG01-27 | シロアリの内源性木材消化酵素遺伝子の多様性と発現解析 | ○徳田 岳 ¹ 、関根 麗子 ¹ 、渡辺 裕文 ² | 1.琉球大・熱生研, 2.農研機構・生物研 |
| PG01-28 | ノゼマ症感染ミツバチの排泄パターンに対する餌の影響 | ○中村 祥子 ¹ 、日向 貴輝 ² 、井上 真紀 ² | 1.森林総研, 2.東京農工大 |
| PG01-29 | 社会性アブラムシが誘導する植物ゴールの蒸散作用と温度調節機能の実験的検証 | ○柴尾 晴信 ¹ 、植松 圭吾 ¹ 、沓掛 磨也子 ² 、深津 武馬 ² 、松山 茂 ³ | 1.慶應義塾大・自然セ, 2.産総研・生物プロセス, 3.筑波大・生命環境 |
| PG01-30 | 女王シグナルに対する社会的制裁機構の応答時間 | 中山 萌 ² 、○菊地 友則 ¹ | 1.千葉大学・海洋バイオ, 2.千葉大学・理 |
| PG01-31 | 単一種の宿主を共有する社会寄生者は宿主のコロニーも共有するのか | ○高石 悠生 ¹ 、高田 守 ¹ 、松浦 健二 ¹ | 1.京大・農・昆虫生態 |
| PG01-32 | 高精度かつ簡便で昆虫精子に最適な生存判定法の確立 | ○竹島 実加 ¹ 、後藤 彩子 ¹ | 1.甲南大学 |
| PG01-33 | 産卵以前に決定されるシロアリのカースト分化運命 | ○高田 守 ¹ 、永井 秀弥 ¹ 、稲垣 辰哉 ^{1,4} 、大久保 祐作 ² 、田崎 英祐 ^{1,3} 、松浦 健二 ¹ | 1.京都大院・農, 2.統計数理研究所, 3.新潟大・理, 4.東工大・生命理工学院 |
| PG01-34 | 青森県と岩手県における侵入害虫アワダチソウグンバイの分布状況と分布域推定 | ○吉村 英翔 ¹ 、對馬 佑介 ² 、田淵 研 ¹ 、舩谷 悠祐 ¹ | 1.農研機構・東北研, 2.青森産技セ・農林総研 |
| PG01-35 | 侵入害虫キオビエダシヤクにおける光周性の適応不全 | ○新谷 喜紀 ¹ | 1.南九州大・環境園芸 |
| PG01-36 | モモンクイガの後休眠発育特性 | ○石栗 陽一 ¹ | 1.青森産技りんご研 |
| PG01-37 | 島根県におけるダイコクコガネの生息状況について | ○皆木 宏明 ¹ | 1.島根県立三瓶自然館 |
| PG01-38 | アシナガバチ5種における羽ばたきと翅音の周波数解析 | ○森元 伊織 ¹ 、水根 一起 ² 、丸山 躍斗 ² 、堀井 和広 ¹ 、岡本 朋子 ² 、土田 浩治 ² 、任 書晃 ¹ | 1.岐阜大医, 2.岐阜大応生 |
| PG01-39 | フェモラータオオモボトハムシの構造色形成にメラニン合成系遺伝子は関与するか? | ○香月 雅子 ¹ | 1.都立大 |
| PG01-40 | チャバネアオカメムシ <i>Plautia stali</i> の JHAMT様遺伝子の発現解析 | 平良 康蔵 ¹ 、池澤 光希 ¹ 、○篠田 徹郎 ¹ | 1.福島大学食農学類 |
| PG01-41 | 物体検出アルゴリズム“Yolo”を用いた果樹カメムシ類発生予察省力化の検討 | ○米田 健一 ¹ 、兵頭 由浩 ¹ 、三村 知彰 ¹ 、小島 英 ¹ | 1.奈良県農業研究開発センター |
| PG01-42 | 栃木県のにら栽培ほ場におけるフシダニ科の一種 <i>Aceria</i> sp. の発生について | ○横塚 隆宏 ¹ 、春山 直人 ² 、上遠野 富士夫 ³ | 1.栃木県農環センター, 2.栃木県農業試験場, 3.法政大植医センター |
| PG01-43 | フェロモントラップの粘着板捕獲虫を識別・計数するAI | ○岩田 大介 ¹ 、高橋 和夫 ¹ | 1.新潟農総研作物研 |
| PG01-44 | GISを用いた土地利用データに基づく建物侵入害虫の分布域の分析 | ○木村 文 ¹ 、宮田 弘樹 ¹ | 1.株式会社竹中工務店 |
| PG01-45 | 衛星画像からの指数を用いた熱帯地域の糞虫類多様性の地図化 | ○上田 明良 ¹ 、伊東 宏樹 ¹ 、Dwibadra Dhian ⁴ 、Kahono Sih ⁴ 、Syah Titis Hutama ³ 、高橋 正義 ² | 1.森林総研北海道, 2.森林総研, 3.東クタイ農科大, 4.インドネシア国研革新庁動物 |
| PG01-46 | 生物多様性モニタリングに深層学習は有用か? - 精度と学習コストの検証 | ○平岩 将良 ¹ 、石若 直人 ² 、秋山 大樹 ¹ 、太田 貴生斗 ¹ 、早坂 大亮 ¹ | 1.近畿大・農, 2.近畿大院・農 |
| PG01-47 | 東日本大震災後の仙台砂丘有剣ハチ類の11年間の変化 | ○郷右近 勝夫 ¹ 、遠藤 知二 ² 、赤間 草太 | 1.日本昆虫学会, 2.神戸女学院大 |
| PG01-48 | 溪流の光環境と水生生物群集-物質代謝の視点から- | ○吉村 真由美 ¹ 、久保田 多余子 ¹ | 1.森林総合研究所 |
| PG01-49 | ダイズ循環選抜育種におけるハナバチ2種を利用した効率的な交配法の検討 | ○渡邊 智大 ¹ 、横井 智之 ¹ 、津田 麻衣 ¹ 、加賀 秋人 ² | 1.筑波大学・生命環境系, 2.農研機構・作物生産部門 |
| PG01-50 | アメリカミズアブ幼虫の再利用方法の検討 | ○武田 晃司 ¹ 、劉 家銘 ¹ 、藤田 弥佳 ¹ 、小林 徹也 ¹ | 1.農研機構 |
| PG01-51 | 昆虫嗅覚受容体発現センサ細胞を複数種類用いたセンサアレイによる農作物カビ病由来成分の識別手法の検討 | ○祐川 侑司 ¹ 、二木 佐和子 ¹ 、黒田 枝里 ¹ 、神崎 亮平 ¹ 、光野 秀文 ¹ | 1.東大・先端研 |
| PG01-52 | キロショウジョウバエ嗅覚受容体遺伝子を導入したSf21細胞の系統化による高応答細胞株の獲得 | ○二木 佐和子 ¹ 、祐川 侑司 ¹ 、黒田 枝里 ¹ 、神崎 亮平 ¹ 、光野 秀文 ¹ | 1.東大・先端研 |
| PG01-53 | 昆虫嗅覚受容体発現センサ細胞による対象成分の簡易検査技術の開発 | ○光野 秀文 ¹ 、祐川 侑司 ¹ 、荒木 章吾 ¹ 、二木 佐和子 ¹ 、黒田 枝里 ¹ 、山平 真也 ² 、山口 哲志 ³ 、櫻井 健志 ⁴ 、長棟 輝行 ⁵ 、神崎 亮平 ¹ | 1.東大・先端研, 2.京大・生命科学, 3.阪大・産研, 4.東農大・農, 5.東大・工 |

| | | | |
|---------|--------------------------------------|--|--|
| PG01-54 | リュウキュウツヤハナムグリの小楯板の構造色 | ○秦 珠子 ¹ 、石川 謙 ² | 1.農研機構, 2.東京工大物質理工 |
| PG01-55 | ネッタイシマカのイヌ糸状虫感染表現型に関する遺伝的個体差の解析 | 白水 貴大 ^{1,2} 、○佐々木 瑞希 ¹ 、 Tiwananthagorn SARUDA ³ 、福本 晋也 ¹ | 1.帯広畜産大学・原虫研, 2.藤田医科大学・疾患モデル, 3.チェンマイ大学・獣医 |
| PG01-56 | テンサイシストセンチュウに抵抗性を示すトマト品種と関連遺伝子 | ○岡田 浩明 ¹ 、松下 航 ² | 1.農研機構 植物防疫研究部門, 2.カゴメ株式会社 |
| PG01-57 | 海浜性甲虫類から検出された便乗、寄生線虫 | ○神崎 菜摘 ¹ 、藤森 友太 ² | 1.森林総合研究所関西支所, 2.明治大学農学部 |
| PG01-58 | バナナネモグリセンチュウの野菜類6作物23品種における増殖性 | 堀江 実来 ¹ 、○岩堀 英晶 ¹ | 1.龍谷大・農 |
| PG01-59 | 深層学習を用いた主要植物寄生性線虫3群の判別手法の開発 | ○与謝野 舜 ^{1,2} 、孫 健強 ² | 1.農研機構・植防研, 2.農研機構・農情研 |
| PG01-60 | DNAメタバーコーディング解析を用いた食品工場内の害虫侵入・発生状況調査 | ○洲崎 雄 ¹ 、四本 瑞世 ¹ 、緒方 浩基 ¹ | 1.株式会社 大林組 |
| PG01-61 | チャバネゴキブリの走光性を利用した捕獲方法 | ○木村 悟朗 ¹ | 1.イカリ消毒株式会社 |

2024年3月30日(土)学生会員 ポスター発表 コアタイム【奇数:11:30~12:30, 偶数:12:30~13:30】

| 講演番号 | タイトル | 著者 | 所属機関 |
|---------|---|---|--|
| PS02-01 | シロアリのカースト間代謝ネットワークにおいてグルコースが女王に集中する | ○森野 純 ¹ 、田崎 英祐 ¹ | 1.新潟大・理 |
| PS02-02 | マルハナバチを介した植物ウイルスの水平伝播の可能性 | ○吉岡 美咲 ¹ 、小松 健 ¹ 、井上 真紀 ¹ | 1.農工大院・農 |
| PS02-03 | ネバダオオシロアリの雌雄差を生み出す分子機構に関するゲノムワイドな解析 | ○藤原 克斗 ¹ 、林 良信 ² 、前川 清人 ³ | 1.富山大院・理工, 2.慶応大・法, 3.富山大・学術・理 |
| PS02-04 | クロマルハナバチ <i>Bombus ignitus</i> のワーカーにおける個体間認識が産卵開始に及ぼす影響 | ○和田 直樹 ¹ 、光畑 雅宏 ² 、横井 智之 ¹ | 1.筑波大・保全生態, 2.アリスライフサイエンス株式会社 |
| PS02-05 | 代役の働きアリは不足するタスクを補償するのか | ○田中 康就 ¹ 、辻 和希 ^{1,2} 、下地 博之 ^{1,2} | 1.鹿大・連合農学研究科, 2.琉大・農学部 |
| PS02-06 | Integrins of <i>Mythimna separata</i> in Cellular Immunity | ○Yuting Mao ¹ 、Seiichi Furukawa ² | 1.Tsukuba Univ., 2.University of tsukuba |
| PS02-07 | Two transglutaminases play novel roles in innate immunity in Oriental Armyworm, <i>Mythimna separata</i> | ○YING ZHU ¹ 、seiichi Furukawa ¹ | 1.University of Tsukuba |
| PS02-08 | DIPA-CRISPR法によるチャバネアオカメムシの高効率なゲノム編集 | ○高橋 桃世 ¹ 、森山 実 ² 、春本 敏之 ^{3,4} 、白井 雄 ¹ 、松田 直樹 ¹ 、深津 武馬 ² 、大門 高明 ¹ | 1.京大院農, 2.産総研生物プロセス研究部門, 3.京大白眉センター, 4.京大院生命 |
| PS02-09 | 異なる青色光波長による昆虫細胞致死メカニズムの違い | ○青木 雄一 ¹ 、麻生 久 ¹ 、原田 昌彦 ¹ 、堀 雅敏 ¹ | 1.東北大院・農 |
| PS02-10 | アゲハチョウの産卵管に高発現するOdorant binding protein(OBP)の解析 | ○廣寄 由利恵 ^{1,2} 、宇賀神 篤 ² 、尾崎 克久 ² 、二河 成男 ¹ | 1.放送大院・自然環境, 2.JT生命誌研究館 |
| PS02-11 | Suppression of phenoloxidase activity by a serpin 27A-like protein from <i>Drino inconspicuides</i> (Diptera: Tachinidae) | ○ZHAOLANG KUANG ¹ 、KAI ZHANG ¹ 、Sota Jinnai ¹ 、Kazuto Ichikawa ¹ 、Seiichi Furukawa ¹ | 1.Tsukuba Univ. |
| PS02-12 | 青色光毒性に起因する組織傷害および作用機構の解明 | ○小林 敦樹 ¹ 、堀 雅敏 ¹ | 1.東北大院・農 |
| PS02-13 | カイコガ性フェロモン受容体のEE異性体への応答特性の解析 | ○佐藤 健斗 ¹ 、櫻井 健志 ² 、藤井 毅 ³ 、松山 茂 ⁴ 、神崎 亮平 ¹ 、光野 秀文 ¹ | 1.東大先端研, 2.東農大, 3.摂南大, 4.筑波大 |
| PS02-14 | 無変態昆虫マダラシミにおける成虫化誘導遺伝子 <i>E93</i> のノックアウト解析 | ○稲田 圭 ¹ 、峯村 俊儀 ¹ 、大出 高弘 ¹ 、大門 高明 ¹ | 1.京大院・農 |
| PS02-15 | チャイロコメノゴミムシダマシ(<i>Tenebrio molitor</i>)の産卵メカニズムの解明 | ○浅井 陸飛 ¹ 、龍田 勝輔 ² | 1.佐賀大学・農, 2.佐賀大学・総合分析 |
| PS02-16 | RNA-seq法を用いたマメコガネの嗅覚受容体候補遺伝子の解析 | ○今井 信太郎 ¹ 、田中 啓介 ² 、岸村 和真 ¹ 、櫻井 健志 ¹ | 1.東農大・農, 2.東情大・総情 |
| PS02-17 | 血中塩濃度によるハスモンヨトウ幼虫の摂食量変化 | ○小田 晴也 ¹ 、南川 華衣 ¹ 、大塚 悠河 ¹ 、龍田 勝輔 ² | 1.佐賀大学・農, 2.佐賀大学・総合分析 |
| PS02-18 | 不完全変態昆虫におけるBTB転写因子Chronologically inappropriate morphogenesisとAbruptの幼虫期維持機能 | ○門嶋 真奈 ¹ 、大門 高明 ¹ 、大出 高弘 ¹ | 1.京都大学大学院 / 農学研究科 |
| PS02-19 | 実験室下における餌の糖度がもたらすアメリカシロヒトリ成虫期の寿命への影響 | ○山田 出 ¹ 、藤井 毅 ¹ | 1.摂南大学 |
| PS02-20 | ニッポンクサカゲロウ緑色色素の精製と生合成酵素の検討 | ○阿部 風音 ¹ 、山内 聡 ¹ 、西脇 寿 ¹ | 1.愛媛大院・農 |
| PS02-21 | 高山蝶ミヤマモンキチョウの景観学的視点による分布域形成と寄主植物の影響 | ○清水 大輔 ¹ 、山崎 裕治 ¹ | 1.富山大学大学院 |
| PS02-22 | 衛星画像を用いた森林害虫マイマイガの被害推定と発生リスク予測 | ○森 夏美 ¹ 、山下 恵 ² 、井上 真紀 ² | 1.農工大院・農, 2.農工大・農 |
| PS02-23 | 待機型の寄生をするセスジハリバエの生活史特性 | ○野間 将義 ¹ 、新谷 喜紀 ¹ | 1.南九州大・院・園芸昆虫 |
| PS02-24 | エダナナフシの初期胚休眠を終了する環境条件の実験的解析 | ○中野 晏志 ¹ 、中村 圭司 ¹ | 1.岡山理大・院・総合情報 |
| PS02-25 | クビナガキバチ科昆虫3種の利用樹種と羽化・脱出パターン:穿孔部位をめぐる養菌性キクイムシとの関係も含めて | ○高木 隆 ¹ 、梶村 恒 ¹ | 1.名古屋大・院・生命農 |
| PS02-26 | 極限環境湖から発見された線虫 <i>Tokorhabdits tufae</i> の特殊繁殖形態と環境適応 | ○武田 奈々 ¹ 、山下 達矢 ¹ 、新屋 良治 ¹ | 1.明治大学農学部 |

| | | | |
|---------|--|--|---|
| PS02-27 | 沖縄産ハラビロカマキリの卵休眠の有無と幼虫期間 | ○渡邊 諒 ¹ 、廣田 溪琉 ¹ 、菅原 亮平 ¹ | 1.弘前大学 |
| PS02-28 | モンクロシャチホコの発生生態 | ○船城 海斗 ¹ 、関口 智仁 ¹ 、北嶋 康樹 ¹ | 1.茨城大・農 |
| PS02-29 | ツマジロクサヨトウの土着卵寄生蜂 <i>Telenomus remus</i> の生活史特性 | ○小森 崇聖 ¹ 、新谷 喜紀 ¹ | 1.南九州大・環境園芸 |
| PS02-30 | タイレコダニ属の一種の分布およびその海流分散の可能性 | ○宮崎 一慶 ¹ 、笠井 敦 ¹ | 1.静岡大院・農 |
| PS02-31 | シロイヌナズナにおけるハスモンヨトウの活性型糖エリシター受容機構モデル | ○黒川 友梨香 ¹ 、中田 みのり ¹ 、橋爪 裕人 ¹ 、八須 匡和 ² 、出崎 能丈 ¹ 、根本 圭一郎 ³ 、野澤 彰 ⁴ 、澤崎 達也 ⁴ 、上村 卓矢 ¹ 、有村 源一郎 ¹ | 1.東京理科大・先進工、2.鶴岡工業高専・創造工、3.岩手生工研、4.愛媛大・PROS |
| PS02-32 | ナミテントウ嗅覚受容体の応答特性情報による行動制御剤の探索 | ○愛知 由輝斗 ¹ 、田中 嵩大 ¹ 、光野 秀文 ² 、櫻井 健志 ¹ | 1.東農大・農、2.東大・先端研 |
| PS02-33 | マルハナバチによる開花促進現象を司る鍵物質の在り処 | ○妥玖和 佑悟 ¹ 、森 信之介 ¹ 、藍 浩之 ² 、光畑 雅宏 ³ 、犀川 陽子 ¹ | 1.慶應義塾大・理工、2.福岡大・理、3.アリストライフサイエンス(株) |
| PS02-34 | タバコカスミカメ成虫の誘引因子の解明 | ○山口 慧 ¹ 、平田 まさみ ¹ 、杉村 侑亮 ¹ 、米谷 衣代 ¹ | 1.近畿大学 |
| PS02-35 | キタキチョウ非寄主マメ科植物の化学的形質とメスの産卵反応 | ○辰野 純永 ¹ 、高塚 裕太 ¹ 、太田 伸二 ¹ 、大村 尚 ¹ | 1.広島大・院・統合生命 |
| PS02-36 | Preliminary report of mating behavior and sex pheromone of <i>Heterolocha aristonaria</i> (Lepidoptera: Geometridae) | ○Abubaker A. S. Tareq ¹ 、中 秀司 ² | 1.鳥取大学大学院連合農学研究科、2.鳥取大学農学部 |
| PS02-37 | オリーブアナアキゾウムシのoleuropein代謝戦略 | ○藤川 亜也 ¹ 、吉永 直子 ¹ | 1.京大院・農 |
| PS02-38 | キャベツ葉面ワックスがアブラナ科植物食害昆虫の産卵行動に及ぼす影響 | ○井上 昂大 ¹ 、植野 樹 ¹ 、大村 尚 ¹ 、太田 伸二 ¹ | 1.広島大院・統合生命 |
| PS02-39 | クロツヤツツハネカクシ <i>Priochirus japonicus</i> (ハネカクシ科:ツツハネカクシ亜科)の化学防衛物質と生理活性について | ○高谷 佑生 ¹ 、大畑 勇統 ² 、橋爪 拓斗 ³ 、水口 裕貴 ² 、小川 順 ² 、竹内 道樹 ² 、大出 高弘 ² 、丸山 宗利 ⁴ 、森 直樹 ² | 1.京大・農、2.京大院・農、3.九大・農、4.九大博 |
| PS02-40 | 殺虫剤ジメトフランに対するハキリバチ類の急性毒性と行動変化 | ○吉田 風音 ¹ 、平岩 将良 ² 、早坂 大亮 ² | 1.近畿大・院・農、2.近畿大・農 |
| PS02-41 | 畜舎におけるイエバエのピレスロイド系殺虫剤抵抗性の現状 | ○仲川 幹映 ¹ 、糸川 健太郎 ² 、上村 望 ² 、富岡 康浩 ³ 、谷川 力 ³ 、高岡 安希 ² 、糸山 享 ¹ 、葛西 真治 ² 、駒形 修 ² | 1.明治大院・農、2.感染研、3.イカリ消毒(株) |
| PS02-42 | ホソヘリカメムシおよびコクヌストモドキに対する幼若ホルモン様活性物質の活性発現機構の解明 | ○長島 涼 ¹ 、中川 貴雄 ¹ 、品田 哲郎 ² 、粥川 琢巳 ³ 、水口 智江 ¹ | 1.名古屋大院・生命農学、2.大阪公立大・理学、3.農研機構・生物研 |
| PS02-43 | ハチノスツヅリガの寄主選択と繁殖戦略 | ○日向 貴輝 ¹ 、牧野 夏椰 ² 、宮崎 翔 ² 、井上 真紀 ² | 1.東京農工大学・農、2.東京農工大院・農 |
| PS02-44 | 群馬県内圃場におけるタバコナジラミとTYLCV発生状況の調査 | ○齋藤 悠真 ^{1,3} 、白石 俊昌 ² 、藤原 亜希子 ³ | 1.群馬大学・理工学府、2.日本植物医師会、3.群馬大学・食健康センター |
| PS02-45 | ヨコヤマヒメカミキリによる東京都利島のヤブツバキ落枝被害と本種の発育特性 | ○押野 任志 ¹ 、加藤 綾奈 ² 、大井田 寛 ¹ | 1.法政大院、2.東京都農セ |
| PS02-46 | 異なる道路舗装材が地上徘徊性の節足動物に与える影響 | ○山元 駿介 ¹ 、土井 具汰 ² 、吉田 風音 ² 、平岩 将良 ¹ 、早坂 大亮 ¹ | 1.近畿大・農、2.近畿大・院・農 |
| PS02-47 | アカボシゴマダラからの新規バキュロウイルスの分離報告 | ○木川 太一 ¹ 、畠山 吉則 ¹ | 1.日大・生物資源 |
| PS02-48 | Investigating the virulence and sublethal effects of <i>Beauveria pseudobassiana</i> on oral administration to adult <i>Aedes aegypti</i> and <i>Anopheles stephensi</i> | ○フーサイン シカンダー ¹ 、嘉糠 洋陸 ³ 、小池 正徳 ¹ 、相内 大吾 ² | 1.帯畜大・環微研、2.帯畜大・GAMRC、3.慈恵会医科大・熱帯医学 |
| PS02-49 | Microbial control of Asian corn borer (<i>Ostrinia furnacalis</i>) by endophytic entomopathogenic fungi on maize | ○サンボ エルシディオ ¹ 、小池 正徳 ¹ 、相内 大吾 ² | 1.帯畜大・環微研、2.帯畜大・GAMRC |
| PS02-50 | アフリカ産 <i>Beauveria bassiana</i> 添加擬似餌を用いた <i>Prostephanus truncatus</i> Horn の防除 | ○田中 俊平 ¹ 、小池 正徳 ¹ 、相内 大吾 ² | 1.帯畜大・環微研、2.帯畜大・GAMRC |
| PS02-51 | アブラナ科植物を食害するモンシロチョウの新規微生物防除資材の探索 | ○頃末 美紀 ¹ 、竹内 和 ¹ 、徳重 美琴 ¹ 、木川 太一 ¹ 、鈴木 瑠華 ¹ 、畠山 吉則 ¹ | 1.日大・生物資源 |

| | | | |
|---------|--|---|---|
| PS02-52 | チョウ目害虫とカ類に対して有効な微胞子虫による新規微生物防除資材の開発 | ○船山 千寛 ¹ 、山内 康平 ¹ 、頃末 美紀 ¹ 、徳重 美琴 ¹ 、池田 健樹 ¹ 、畠山 吉則 ¹ | 1.日大・生物資源 |
| PS02-53 | チャノココカモンハマキ昆虫ボックスウイルス(AHEV)から発見されたポルトンライクウイルスはAHEVの適応度に影響を与えるのか? | ○須藤 真敬 ¹ 、高務 淳 ² 、仲井 まどか ¹ | 1.東京農工大学, 2.森林総合研究所 |
| PS02-54 | 昆虫病原性線虫に関するより簡便・安価な実験方法の検討 ~洗浄と接種実験~ | ○齊藤 大倫 ¹ 、梅野 大樹 ¹ 、竹内 和 ¹ 、細谷 魁成 ¹ 、畠山 吉則 ¹ | 1.日大・生物資源 |
| PS02-55 | なぜCry毒素を構成するタンパク質の種類は多いのか? ~翻訳領域とその周辺配列を比較した分子系統解析~ | ○田村 琴音 ¹ 、畠山 吉則 ¹ | 1.日大・生物資源 |
| PS02-56 | アブラゼミからの新規Dicistrovirusの検出 | ○鈴木 瑠華 ¹ 、木川 太一 ¹ 、杉山 奈々 ¹ 、畠山 吉則 ¹ | 1.日大・生物資源 |
| PS02-57 | ハスモンヨトウから分離した昆虫感染性微胞子虫の感染宿主域検索 | ○細谷 魁成 ¹ 、齊藤 大倫 ¹ 、竹内 和 ¹ 、畠山 吉則 ¹ | 1.日大・生物資源 |
| PS02-58 | サビマダラオオホソカタムシ1齢幼虫の日齢が代替宿主への寄生におよぼす影響 | ○鄭 天軼 ¹ 、糸山 享 ¹ | 1.明治大・農 |
| PS02-59 | タイリクヒメハナカメムシを用いた捕食性昆虫のための行動アッセイ系の確立 | ○本多 航平 ¹ 、日本 典秀 ¹ | 1.京大院・農・生態情報 |
| PS02-60 | 土着天敵ラデマツヘルカブリダニ <i>Amblyseius rademacheri</i> の生態評価 | ○宇杉 祥吾 ¹ 、豊島 真吾 ² 、日本 典秀 ³ | 1.京大, 2.農研機構, 3.京大院 |
| PS02-61 | タバコカスミカメの飼育に用いる2種類の餌の比較と、補助餌の機能の検証 | ○玉田 結唯 ¹ 、日本 典秀 ² | 1.京大・農・生態情報, 2.京大院・農・生態情報 |
| PS02-62 | キアシヤガコミュバチが重寄生するとアワヨトウ終齢幼虫に対して寄生成功するようになる | ○田中 美有 ¹ 、奥村 雄暉 ² 、澤 友美 ² 、田中 利治 ³ 、中松 豊 ¹ | 1.皇學館大学・院, 2.皇學館大学・教, 3.名大 |
| PS02-63 | ツヤケシオオゴミムシダマシの蛹を用いた天敵昆虫サビマダラオオホソカタムシの飼育法の改善 | ○栢森 綾音 ¹ 、糸山 享 ¹ | 1.明治大学院・農 |
| PS02-64 | タバコカスミカメ利用時のトマトとバンカー植物間のコミュニケーション | ○田崎 智也 ¹ 、桶元 侑加 ¹ 、中村 花鈴 ¹ 、上船 雅義 ¹ | 1.名城大・農 |
| PS02-65 | タバコカスミカメの代替餌の探索 | ○樋口 龍清 ¹ 、上船 雅義 ¹ | 1.名城大・農 |
| PS02-66 | 野外における、大流行に伴ったLdMNPVの活性と遺伝子型の変化 | ○豊倉 啓吾 ¹ 、佐藤 就將 ¹ 、井上 真紀 ¹ 、Sergey Pavlushin ² 、Vyacheslav Martemyanov ² | 1.東京農工大・院・農, 2.ロシア科学アカデミー |
| PS02-67 | シロイチモジヨトウにおけるPKF遺伝子の機能解析 | ○右田 陽 ¹ 、伊藤 克彦 ¹ 、仲井 まどか ¹ | 1.農工大・農 |
| PS02-68 | 樹木穿孔性害虫4種の幼虫のアリルイソチオシアネート(AITC)に対する感受性 | ○芳谷 昂紀 ¹ 、澤島 拓夫 ² 、早坂 大亮 ² 、浅井 ひろみ ³ | 1.近畿大学大学院農学研究科, 2.近畿大学農学部, 3.株式会社PRD |
| PS02-69 | ハスモンヨトウに対する青色光の殺虫効果 | ○福岡 研人 ¹ 、堀 雅敏 ¹ | 1.東北大・農 |
| PS02-70 | 微小害虫防除技術の開発に向けた作物への光照射シミュレーション | ○山田 直斗 ¹ 、西末 浩司 ¹ 、村田 未果 ² 、渋谷 和樹 ² 、杉浦 綾 ³ 、福田 信二 ^{1,3} | 1.東京農工大学, 2.農研機構植防研, 3.農研機構農情研 |
| PS02-71 | アロマオイルの香りがナミハダニの忌避に及ぼす影響 | ○丹羽 美聖 ¹ 、飯島 里奈 ¹ 、上船 雅義 ¹ | 1.名城大・農 |
| PS02-72 | 農業害虫アブラムシの防除における捕食者(ナミテントウ)と寄生者(アブラバチ)の併用の可能性 | ○土井 具汰 ¹ 、平岩 将良 ² 、石若 直人 ¹ 、長野 光希 ¹ 、早坂 大亮 ² | 1.近畿大・農・院, 2.近畿大・農 |
| PS02-73 | 圃場における昆虫叢の定量的解析を目指した、DNAメタバーコーディング手法の開発 | ○西部 瞬汰 ¹ 、藤田 峻介 ^{2,3} 、藤原 亜希子 ² 、土田 努 ⁴ | 1.富山大学大学院・理工学研究科, 2.群馬大学・食健康センター, 3.群馬大学・理工学府, 4.富山大学・学術研究部 |
| PS02-74 | 光照射によるイチゴ圃場における微小害虫防除の試み | ○藤田 峻介 ^{1,2} 、土田 努 ³ 、藤原 亜希子 ¹ | 1.群馬大学・食健康センター, 2.群馬大学・理工学府, 3.富山大学・学術研究部富山大学・学術研究部 |
| PS02-75 | ズッキーニが隣接するミニトマトのヒメハナカメムシ類個体群に与える影響 | ○白川 純蓮 ¹ 、糸山 享 ¹ | 1.明治大学大学院 |
| PS02-76 | 露地ナス圃場へのオクラ植栽によるヒメハナカメムシ類の温存効果の再検証 | ○中村 亘成 ¹ 、中村 晃紳 ² 、糸山 享 ¹ | 1.明治大院・農, 2.農研機構 |
| PS02-77 | 東京都の天敵温存植物植栽ナス圃場におけるクモ類等の捕食者の消長と機能評価 | ○玉川 陽菜 ¹ 、加藤 綾奈 ² 、大井田 寛 ¹ | 1.法政大・生命, 2.東京都農セ |

| | | | |
|----------|--|---|--|
| PS02-78 | Comparison of area-wide population structure between <i>Orius strigicollis</i> and <i>O. sauteri</i> | ○LAN KONG ¹ , NORIHIDE HINOMOTO ¹ | 1.KYOTO University |
| PS02-79 | ハクサイにおけるプロヒドロジャスモンを用いた害虫防除 | ○松澤 弘賢 ¹ , 上船 雅義 ¹ | 1.名城大院・農・昆虫 |
| PS02-80 | ジェネラリスト天敵コウズケカブリダニのマイクロサテライトDNAマーカー開発及び個体群解析 | ○加藤 祐毅 ¹ , 矢野 修一 ² , 日本 典秀 ² | 1.京大・農, 2.京大院・農 |
| PS02-81 | オオカマキリ雄はハラビロカマキリ大東島亜種に誤誘引される | ○綾野 惣施 ¹ , 大島 千幸 ² , 山崎 和久 ³ , 中秀司 ¹ | 1.鳥取大・農, 2.進化生物学研究所, 3.農工大・農 |
| PS02-82 | 特定外来生物クビアカツヤカミキリ <i>Aromia bungii</i> (Faldermann) の名古屋およびその周辺地域における侵入状況(昆虫綱・甲虫目・カミキリムシ科) | ○田之上 秀斗 ¹ , 戸田 尚希 ¹ , 上船 雅義 ¹ , 武藤 将道 ¹ | 1.名城大・農 |
| PS02-83 | ヤシヤゲンゴロウにおける環境DNAを用いた生息密度推定 | ○田子多 正貴 ¹ , 上田 昇平 ¹ , 加藤 雅也 ² , 中濱 直之 ³ , 井鷲 裕司 ² , 平井 規央 ¹ | 1.大阪公立大院・農, 2.京大院・農, 3.兵庫県大・自然環境研 |
| PS02-84 | 地帯徘徊性昆虫類の放射性セシウム濃度と食性の関係 | ○堀内 歩 ¹ , 加茂 楓葵 ¹ , 田中 草太 ¹ | 1.秋田県立大学 |
| PS02-85 | 福島県天然記念物「白山沼のイトヨ生息地」における底生動物相 | ○柴田 史音 ¹ , 塘 忠顕 ¹ | 1.福島大学 |
| PS02-86 | 翅を見れば種と産地がわかるー石垣島産ニイニイゼミ属の翅脈形状比較と保全研究での適用ー | ○児玉 建 ¹ , 佐々木 健志 ² , 立田 晴記 ³ | 1.九大院シス生, 2.琉大博, 3.九大院理 |
| PS02-87 | 農村部と都市で飼育されたセイヨウミツバチの窒素・炭素安定同位体比の比較 | ○岩竹 政治 ¹ , 兵藤 不二夫 ¹ , 宮竹 貴久 ¹ , 加藤 学 ² , 藤岡 春菜 ¹ | 1.岡山大学, 2.山田養蜂場 |
| PS02-88 | 殺菌剤ベノミルがコマユバチ科内部寄生蜂3種の寄生に与える影響 | ○江川 和総 ¹ , 小松崎 優 ¹ , Piyasaengthong Narisara ² , 藏満 司夢 ¹ | 1.筑波大, 2.カセサート大学 |
| PS02-89 | 水田ビオトープにおけるアメリカザリガニの低密度化が水生昆虫に与える影響 | ○松村 拓樹 ¹ , 岸本 圭子 ² | 1.新潟大院, 2.龍谷大・先端理工 |
| PS02-90 | 秋に日永を感じる: 夜間照明によるアメリカシロヒトリ幼虫集団の休眠阻害 | ○田中 真織 ¹ , 弘中 満太郎 ¹ | 1.石川県立大院・応用昆虫 |
| PS02-91 | Effects of Black Soldier Fly Frass (BSFF) on Growth, Yield, and Soil Arthropods Abundance in Edamame Fields | ○DWI HARYA YUDISTIRA ¹ , Yongki Umam Sandi ² , Bayu Anggita Wirabumi ² , Tetsuya Fukushi ² , Satoru Sato ² | 1.UGAS, Iwate University, 2.Yamagata Univ. |
| PS02-92 | 幼虫期、前蛹期の低温保存を利用したアメリカミズアブの系統保存 | ○竹中 彩 ^{1,2} , 杉村 乾 ³ , 霜田 政美 ³ , 小林 徹也 ¹ | 1.農研機構・生物研, 2.茨大院・農, 3.東京大 |
| PS02-93 | 閉鎖型昆虫養殖施設におけるコオロギの成育予測シミュレーション | ○松長 諒 ¹ , 鈴木 文詞 ¹ | 1.農工大・BASE |
| PS02-94 | 台湾エンマコオロギの飼育密度の最適化 | ○松山 未奈 ¹ , 山本 雅信 ¹ , 鈴木 文詞 ¹ | 1.東京農工大学 |
| PS02-95 | クロマルハナバチおよびタバコカスミカメに対する紫外線の影響 | ○武藤 悠陽 ¹ , 光畑 雅宏 ² , 田中 栄嗣 ² , 嶋村 茂治 ³ , 野村 昌史 ⁴ | 1.千葉大学園芸学部, 2.アリストライフサイエンス(株), 3.(株)ハンモ, 4.千葉大学大学院園芸学研究院 |
| PS02-96 | 飼料の粒径が食用昆虫台湾エンマコオロギの成育に及ぼす影響 | ○村田 光陽 ¹ , 鈴木 文詞 ¹ | 1.農工大・BASE |
| PS02-97 | Evaluation of odorants discrimination of <i>Drosophila</i> odorant receptor Or13a-expressing senser cell by a high-throughput system | ○周 睿 ¹ , 祐川 侑司 ¹ , 神崎 亮平 ¹ , 並木 重宏 ¹ , 光野 秀文 ¹ | 1.東大・先端研 |
| PS02-98 | チョウ目幼虫が摂取した農業用殺菌剤ベノミルは一部の寄生蜂の寄生を失敗させる: では寄生蜂では? | ○野口 隼人 ¹ , 古川 誠一 ¹ , 藏満 司夢 ¹ | 1.筑波大学 |
| PS02-99 | ダイズシストセンチュウの宿主認識を制御する受容体型グアニル酸シクラーゼ | ○佐伯 靖将 ¹ , 細井 昂人 ² , 内山 博允 ² , 佐々木 康幸 ¹ , 矢嶋 俊介 ¹ , 伊藤 晋作 ¹ | 1.東農大バイオ, 2.東農大ゲノムセンター |
| PS02-100 | 海鳥コロニーにおけるダニ類の分布調査およびそれらが保有するウイルス叢解析 | ○松村 凌 ^{1,2} , 白井 正樹 ³ , 水谷 友一 ⁴ , 小山 偲歩 ⁴ , 武田 航 ² , 屋敷 智咲 ⁴ , 藤岡 珠代 ⁵ , 小林 大介 ² , 山本 誉士 ⁶ , 葛西 真治 ² , 糸山 享 ¹ , 依田 憲 ⁴ , 伊澤 晴彦 ² | 1.明治大院・農, 2.感染研・昆虫医学, 3.電中研, 4.名古屋大, 5.長岡技科大, 6.麻布大 |
| PS02-101 | ダイズシストセンチュウTRP-Vチャネル阻害剤の探索 | ○福田 純太 ¹ , 佐々木 康幸 ¹ , 矢嶋 俊介 ¹ , 伊藤 晋作 ¹ | 1.東京農業大学 |
| PS02-102 | ナミハダニの分散は遺伝的多様性で変わるか? | ○福永 優太 ¹ , 日本 典秀 ¹ | 1.京大院・農・生態情報開発学 |

| | | | |
|----------|--|---|--|
| PS02-103 | 昆虫病原性線虫 <i>Heterorhabditis indica</i> の共生細菌種の違いが宿主線虫へ与る影響の調査 | ○大橋 怜司 ¹ 、新屋 良治 ¹ | 1.明大・農 |
| PS02-104 | ナミハダニの休眠を誘導する光周性の分子機構 | ○大迫 朋寛 ¹ 、武田 直樹 ¹ 、鈴木 丈詞 ¹ | 1.農工大院・BASE |
| PS02-105 | ナミハダニの糸には唾液タンパク質も含まれている | ○新井 優香 ¹ 、武田 直樹 ¹ 、鈴木 丈詞 ¹ | 1.農工大・BASE |
| PS02-106 | ミヤコカブリダニのゲノム全塩基配列解読とピリダベン抵抗性因子の推定 | ○武田 直樹 ¹ 、新井 優香 ¹ 、片岡 孝介 ² 、由良 敬 ^{3,4} 、白藤(梅宮) 梨可 ⁵ 、N.A. Ghazy ⁶ 、森 光太郎 ⁶ 、刑部 正博 ⁷ 、日本 典秀 ⁷ 、鈴木 丈詞 ¹ | 1.農工大院・BASE, 2.早稲田大・総合研究機構, 3.早稲田大・先進理工, 4.お茶の水女子大・ライフサイエンス, 5.帯広畜産大・原虫病研究センター, 6.石原産業中央研究所, 7.京大院・農 |
| PS02-107 | キイカブリダニ雌成虫による他個体の卵に対する保護 | ○西川 紗恵 ¹ 、長 泰行 ² | 1.千葉大学・応用昆虫, 2.千葉大院・応用昆虫 |

2024年3月30日(土)一般会員 ポスター発表 コアタイム【奇数:11:30~12:30, 偶数:12:30~13:30】

| 講演番号 | タイトル | 著者 | 所属機関 |
|---------|---|---|--|
| PG02-01 | フラスは語る: フラスを用いた外来カミキリムシの寄生検出法 | ○辻井(藤原)直 ¹ , 安居 拓恵 ¹ | 1.農研機構 植物防疫研究部門 |
| PG02-02 | 植物のみどりの香りを用いたチョウ目幼虫に対する防衛機能 | ○小澤 理香 ¹ , 塩尻 かおり ² , 大田 航 ² , 大野 裕香 ² , 藤田 涼平 ² , 中尾 拓磨 ² , 白井 雄 ³ , 大門 高明 ³ , 伊達 みのり ⁴ , 松井 健二 ⁴ , 高林 純示 ¹ | 1.京都大・生態研, 2.龍谷大・農, 3.京都大院・農, 4.山口大・創成科学 |
| PG02-03 | カシノナガキクイムシの宿主選択に関わる揮発性物質に対する触角の応答 | ○岡田 龍一 ¹ , 伊東 康人 ² , 山崎 理正 ³ | 1.神戸大院・理・生物, 2.兵庫・農林水産セ, 3.京大・農 |
| PG02-04 | ノックアウトカイクを用いた高性能Bt菌の選抜 | ○渡部 賢司 ¹ , 大鷲 友多 ¹ , 斎藤 浩之 ² , 宮本 和久 ¹ | 1.国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構, 2.福岡県工業技術センター |
| PG02-05 | 白きょう病菌 <i>Beauveria bassiana</i> GHA株における病原力遺伝子破壊株の作製 | ○西 大海 ¹ , 周 雪 ² , 和佐野 直也 ¹ , 青木 智佐 ¹ | 1.九大院農, 2.九大院生資環 |
| PG02-06 | Cry46Abの殺ポウフラ活性に関与する受容体認識部位について | ○武部 聡 ¹ , 勝部 柊斗 ¹ , 東 慶直 ¹ , 早川 徹 ² | 1.近畿大・生物理工, 2.岡山大院・ヘルシステム統合科学 |
| PG02-07 | トマトキバガ・タバコナジラミの混発条件におけるタバコカミカメの捕食能力 | ○田中 彩友美 ¹ , 水谷 信夫 ¹ | 1.農研機構・植防研 |
| PG02-08 | 在来植物上におけるヒメハナカメムシ類の種構成と発生量 | ○デヴィド ワリ ¹ , 順一朗 安部 ² , 登史雄 北村 ¹ | 1.農研機構 西日本農業研究センター, 2.農研機構 植物防疫研究部門 |
| PG02-09 | 脱出予定孔を探し接着剤で封入することでクビアカツヤカミキリの羽化を阻止できるのか | ○滝 久智 ¹ , 松本 剛史 ¹ , 加賀谷 悦子 ¹ , 松島 一司 ² , 田村 繁明 ¹ | 1.森林総研, 2.足利市 |
| PG02-10 | 土壌埋め込みによるクビアカツヤカミキリ成虫脱出阻止試験 | ○松本 剛史 ¹ , 滝 久智 ¹ | 1.(国研)森林総合研究所 |
| PG02-11 | カシノナガキクイムシの初期坑道の形成とノズル型殺虫剤の施用 | ○北島 博 ¹ | 1.森林総合研究所 |
| PG02-12 | クビアカツヤカミキリの侵入・産卵阻止技術の現地実証試験及び卵の蛍光に関するいくつかの知見 | ○春山 直人 ¹ , 小林 佑 ¹ , 野澤 聡華 ¹ | 1.栃木県農業試験場 |
| PG02-13 | ウンシュウミカンを加害するオオタバコガの発生 | ○松山 尚生 ¹ , 衛藤 夏葉 ¹ | 1.和果試 |
| PG02-14 | いちごのアザミウマ類に対する総合防除体系 | ○野澤 聡華 ¹ , 春山 直人 ¹ , 小林 佑 ¹ | 1.栃木県農業試験場 |
| PG02-15 | 緑肥作物によるにらのネダニ類に対する密度抑制効果の検証 | ○小林 佑 ¹ , 春山 直人 ¹ , 野澤 聡華 ¹ | 1.栃木県農業試験場 |
| PG02-16 | イチゴ育苗のためのテントウムシ用バンカーに適した植物種の検討 | ○石崎 摩美 ¹ , 光永 貴之 ² , 村上 理都子 ² , 須賀 有子 ¹ , 山内 智史 ¹ | 1.農研機構・中農研, 2.農研機構・植防研 |
| PG02-17 | 被食者検出におけるフラグメント解析の利用について | ○村上 理都子 ¹ , 勝野 智也 ¹ , 窪田 直也 ² , 世古 智一 ¹ , 日本 典秀 ³ | 1.農業・食品産業技術総合研究機構, 2.茨城県農業総合センター, 3.京大院・農・生態情報 |
| PG02-18 | チャ寄生クワシロカイガラムシのピリプロキシフェン剤に対する感受性低下 | ○内山 徹 ¹ , 曾根 大輔 ¹ , 大住 太良 ¹ , 芳賀 一 ¹ , 村上 源太 ² , 片井 秀幸 ² | 1.静岡防除所, 2.静岡茶研センター |
| PG02-19 | ツマジロクサヨトウの天敵類に対する殺虫剤の影響評価 | ○小堀 陽一 ¹ , Chomphukhiao Namphueng ² , Supangkana Thirawut ² , Woravit Sutjaritthammajariyangkun ² | 1.国際農研, 2.タイ農業局 |
| PG02-20 | 沖縄県の露地オクラにおける天敵温存植物を用いた害虫類の密度抑制効果の検証と現地実証を通して見えてきた課題 | ○與儀 喜代政 ¹ , 秋田 愛子 ¹ , 上里 卓己 ² , 安次富 厚 ¹ , 喜久村 智子 ¹ | 1.沖縄県農研セ, 2.沖縄県病害虫防技セ |
| PG02-21 | 有用きのこの小蛾類害虫の形態・分子情報に基づく識別法の開発 | ○長田 庸平 ¹ , 朴 鎮亨 ² , 外村 俊輔 ³ | 1.大阪市立自然史博物館, 2.九大院・生資環, 3.徳島県立博物館 |
| PG02-22 | 有機ネギ栽培における主要害虫ネギコガの密度抑制要因 | ○北村 登史雄 ¹ , Wari David | 1.農研機構 西日本農業研究センター |

2024年3月29日(金) 小集会

| A会場(橘) | B会場(萩) | C会場(白檀1) | D会場(白檀2) | E会場(小会議室1) | F会場(小会議室2) | G会場(小会議室8) |
|---|---|---|--|---|--|--|
| 小集会W01 遺伝子機能アノテーション: 昆虫データ解析に今必要なこと 世話人: 横井翔 | 小集会W02 実験室で進化する昆虫-実験進化/人為選抜を議論する- 世話人: 高田悠太・上野尚久・松村健太郎 | 小集会W03 タバコカシカメ利用を考える-先導導入事例から考える秘訣と課題- 世話人: 安部順一朗・中野亮平 | 小集会W04 「緑尋機妙・昆虫生態学の牽引者から学ぶ」(3)大崎直太さんと愉快的仲間達 世話人: 安田弘法・金子修治 | 小集会W05 第32回日本ICIPE協会研究報告会—アフリカ昆虫学のタバコカシカメ利用- 世話人: 足達太郎 | 小集会W06 NBRPカイコにおける新規リソースの利活用—単為発生系統と倍数体系統 世話人: 藤井告 | 小集会W07 第3回昆虫食マングラ 世話人: 鈴木丈詞・片岡孝介 |
| W01-01○横井 翔 1(1.農研機構・生物研) 昆虫遺伝子機能アノテーションをどうすべきか? | W02-01○古賀 隆一 1(1.産総研・生物プロセス) 実験室での進化により昆虫と自由生活性細菌との相利共生進化の入口を見つける | W03-01○中野 亮平 1. 齊藤 千温2. 戸田 佳香3. 鴨川 悠太4. 寺本 浩長4(1.静岡農林技研, 2.静岡西部農林, 3.静岡中遠農林, 4.JA遠州夢咲) 静岡県の施設大玉トマトにおけるタバコカシカメ利用を基幹としたIPM: これまでの歩みと今後の課題 | W04-01○安田 弘法 1. 金子 修治2(1.放送大学, 2.大阪環農研) 最後の「緑尋機妙・昆虫生態学の牽引者から学ぶ」(3)大崎 直太さんと愉快的仲間達 | W05-01○相内 大吾 1(1.帯畜大・GAMRC) アフリカ害虫の微生物防除 | W06-01○藤井 告 1. 藤本 章見1(1.九州大学大学院農学研究院) 新規カイコバイオリソースの収集・保存・提供—単為発生系統 | W07-01○田崎 英祐 1(1.新潟大・理) 無視できない虫の価値: シロアリの機能性研究とその展望 |
| W01-02○梶 浩平1, 2, 田村 啓太1, 坊農 秀雅1, 2(1.広大・ゲノム編集イノベーションセンター, 2.広大・統合生命) PacBio HiFiリードシーケンスによるキンウバトピコバチのゲノム解読と機能アノテーション | W02-02○宮竹 貴久 1(1.岡山大学) 人為選抜実験: ミバエと甲虫での研究事例紹介 | W03-02○上村 香菜子1, 伊丹 春衣1, 清水 信孝1(1.福岡県農業総合試験場) 福岡県の促成トマト栽培における土着タバコカシカメを利用したIPM | W04-02○大森 正揚 1(1.京都先端科学大学) “剃刀を持つ鉄人”大崎先生との四半世紀 | W05-02○二見 恭子1, Peter Lutial2, George Sonye3, Cassian Mwatele4, Sammy Njenga4, 皆川 昇1(1.長大・熱研, 2.CRTMCD, 3.ASK, 4.KEMRI) 西ケニアにおけるヤブカ属(カ科)幼虫発生源調査 | W06-02○藤本 章見 1. 藤井 告1(1.九大院・農) NBRPカイコの新規分譲開始4倍体系統のご紹介 | W07-02○三浦 みちこ1, 齋藤 健生1, 佐伯 真二郎1, 伊藤 あずき1(1.TAKEO株式会社) 研究者が知らない昆虫食の今 |
| W01-03○坊農 秀雅 1(1.広大・統合生命科学) 遺伝子機能アノテーションワークフロー Fanflow4Insects | | W03-03○田中 彩友美1, 北村 登史雄2, 安達 修平1, 富高 保弘1, 安部 順一朗1, 水谷 信夫1(1.農研機構・植防研, 2.農研機構・西日本農研) 熊本県の促成トマト栽培におけるタバコカシカメ利用体系 | W04-03○坂田 宏志 ()行政施策と経営を導く昆虫生態学 | W05-03○足達 太郎 1(1.東京農大・国際農業開発) サハラ以南アフリカにおけるツマジロクサヨトウの定着状況とトウモロコシ生産への影響 | W06-03○佐原 健 1(1.岩手大・農) 低温処理により誘起したカイコ4倍体と後代3倍体の生殖と性染色体について | W07-03○鈴木 丈詞 1(1.農工大・BASE) タイとカンボジアにおける昆虫食と昆虫養殖 |
| | | W03-04○佐藤 信輔 1. 高野 友二郎1, 小河原 孝司1(1.茨城県農業総合センター園芸研究所) 茨城県の促成トマト栽培におけるタバコカシカメの導入事例 | W04-04○大崎 直太 1(1.大津市) 徒然なるがままに | | W06-04○竹村 洋子 1. 持田 裕司1(1.蚕糸科学技術研究所) 4倍体単為発生と受精補助剤としての3倍体精子の活用 | |

2024年3月30日(金) 小集会

| A会場(橘) | B会場(萩) | C会場(白檀1) | D会場(白檀2) | E会場(小会議室1) | F会場(小会議室2) | G会場(小会議室8) |
|---|--|--|--|---|---|---|
| 小集会W08 ゲノム編集昆虫の利 用を目指して 世話人: 神村学 | 小集会W09 モンシロチョウ属の 種間関係と食草との 関係に関する研究の 現状: 多様な研究手 法からのアプローチ 世話人: 今野浩太郎 | 小集会W10 DNA配列データ解析 を始めてみようII 世話人: 横井翔 | 小集会W11 生物振動学: 基質振 動と非接触振動によ るコナジラミ類の行 動制御と防除 世話人: 高梨琢磨・ 立田晴記・関根崇行 | 小集会W12 昆虫免疫夜話VII 世話人: 芳山三喜 雄・古川誠一 | 小集会W13 第25回昆虫の季節 適応談話会 世話人: 田中一裕・ 後藤慎介 | 小集会W14 応用昆虫学の新しい チャレンジ: 腐食性昆 虫が支える未来の資 源循環社会 世話人: 霜田政美・ 劉家銘 |
| W08-01○神村 学 1(1.農研機構) はじめに | W09-01○今野 浩太 郎1(1.農研機構 生 物機能利用研究部 門) モンシロチョウの極 めて大きな比成長率 (成長速度)が決定 づける世界的大害虫 としての性質とスジ グロシロチョウとの競 合関係および食草決 定 | W10-01○和泉 隆誠 1、平山 カ1、富田 秀一郎1、飯塚 哲也 1、桑崎 正剛1、上樂 明也1、坪田 拓也1、 横井 翔1、山本 公子 1、瀬筒 秀樹1(1.国 立研究開発法人 農 業・食品産業技術総 合研究機構) QTL解析によるカイ コのフラボノイド吸収 を仲介するグリコシ ダーゼの同定 | W11-01○柳澤 隆平 1、上原 祥太郎1、諏 訪 竜一2、高梨 琢磨 3、立田 晴記1(1.九 州大学、2.琉球大学、 3.森林総研) 基質振動によるタバ ココナジラミ防除の 最前線: トマトの安定 栽培技術の実用化 に向けて | W12-01○鈴木 亮彦 1(1.国立環境研究 所・生物多様性領 域) ミツバチにおける腸 内細菌の免疫機能 への関与 | W13-01○藤近 敬子 1、野澤 昌文1、2、高 橋 文1、2(1.都立大・ 理、2.都立大・生命情 報セ) ノハラカオジロショウ ジョウバエ日本集団 の生殖休眠の地理 的変異 | W14-01○佐藤 智1、 2、Yudistira Dwi Harya2、Sandi Yongki Umam1、 Wirabumi Bayu Anggita 1、Wikandari Pinasindi1(1.山形大・ 農、2.岩手連大・農) 山形版アメリカミズア ブを取り巻く状況 |
| W08-02○松原 秀樹 1(1.はつはな果蜂園) 養蜂の実際と課題 | W09-02○岡村 悠 1(1.東大院・理) モンシロチョウ属シロ チョウにおける食草 適応に関わる遺伝子 の進化とその発現調 節 | W10-02○横井 翔 1(1.農研機構・生物 研) 昆虫ゲノムデータ解 析を始める | W11-02○富原 工弥 1、小野寺 隆一2、高 梨 琢磨3(1.兵庫県 農技総セ、2.東北特 殊鋼、3.森林総研) 振動によるコナジラミ 類の密度抑制機構 の解明と実用化に向 けた取組み | W12-02○奥村 雄暉 1、澤 友美1、田中 利治2、中松 豊1(1. 皇學館大学教育学 部、2.名古屋大学) カリヤコマユバチ幼 虫の表皮を覆う漿膜 細胞とテラトサイト による寄主の包圍化作 用の抑制について | W13-02○清水 悠太 1(1.大阪市大院・理) マダラスズの母性休 眠誘導の内分泌機 構 | W14-02○大原 裕也 1(1.静県大・食品栄 養) アメリカミズアブ幼虫 が持つ長期飢餓耐 性の発見とその利用 |
| W08-03○本間 淳1、 2、3、原口 大1(1.沖 縄県病害虫防技セ、 2.琉球産経株式会 社、3.琉大・農) 不妊虫放飼事業に おけるゲノム編集技 術利用への期待 | W09-03○大崎 直太 1(1.大津市) モンシロチョウ属3種 のチョウの比較生態 学 | W10-03○坊農 秀雅 1(1.広大・統合生命 科学) 昆虫のDNA配列 データ解析を始めよ う | W11-03○浦入 千宗 1、星 貴之2(1.農研 機構野菜花き研究 部門、2.ピクシーダ ストテクノロジーズ(株)) 集束超音波による非 接触振動と黄色粘着 板を用いたコナジラミ 類防除機の開発 —天敵タバコカスミカ メによる防除の補完 効果— | W12-03○澤 友美 1、奥村 雄暉1、田中 利治2、中松 豊1(1. 皇學館大学、2.名古 屋大学) 寄主免疫の異物認 識を制御するカリヤ コマユバチのC型レ クチンについて | W13-03○檜垣 守男 1(1.農研機構 植防 研) ゴマダラカミキリの生 活史の季節と気候へ の適応 | W14-03○串間 充崇 1(1.株式会社ムスカ) 新しい「IT」の力で世 界を救う! イエバエを活用した 革新的システムの実 用化について |
| W08-04○畠山 正統 1、神村 学1(1.農研 機構・生物研) ゲノム編集を利用し た個体・系統識別 マーカーの作出 | | | | | | |
| W08-05○田部井 豊 1(1.東洋大学) ゲノム編集生物に関 する取扱いルールと 利用手続き | | | | | | |

2024年3月31日(土) 小集会

| A会場(橋) | B会場(萩) | C会場(白樺1) | D会場(白樺2) | E会場(小会議室1) | F会場(小会議室2) | G会場(小会議室8) |
|---|--|--|--|--|--|--|
| <p>小集会W15 討論しよう！飛来性害虫の殺虫剤抵抗性管理 世話人：山本敦司</p> | <p>小集会W16 第4回社会性昆虫研究会：social material exchange in ants—栄養交換と栄養卵 世話人：藤岡春菜・Adam Khalife</p> | <p>小集会W17 昆虫分類若手懇談会シンポジウム「地域昆虫相解明のために研究者には何ができるのか」 世話人：鈴木信也</p> | <p>小集会W18 カイガラムシ談話会「河合省三先生を偲び、未来を語る」 世話人：上里卓己・田中宏卓・岸本圭子</p> | <p>小集会W19 ハチ目研究者の集い 世話人：岡安樹璃也・廣瀬勇輝</p> | <p>小集会W20 ミツバチ分子生物学の現在地 世話人：宇賀神篤</p> | <p>小集会W21 アリをめぐる生物種間の相互作用2024 (JIUSSJ共催) 世話人：上田昇平・北條 賢</p> |
| <p>W15-01○山本 敦司 1, 2(1.日本曹達(株), 2.殺虫剤抵抗性対策TF) 殺虫剤抵抗性管理の基本と実践サイクル：飛来性害虫にどう応用するか？</p> | <p>W16-01○Adam Khalife1, Masahiro Ogawa1, Fuminori Ito1(1.Kagawa University) Nutritional and adaptive value of worker-laid trophic eggs in ant colonies</p> | <p>W17-01○相馬 純 1(1.弘前大・白神センター) 地域から世界へ：在野研究者との協力関係が分類学と教育にもたらす貢献</p> | <p>W18-01○上里 卓己 1, 田中 宏卓2, 岸本圭子3(1.沖縄病害虫防技セ, 2.九州大・愛媛大, 3.龍谷大) 河合省三先生を偲ぶ</p> | <p>W19-01○渡辺 恭平 1(1.神奈川県立博物館) 分類学者による他分野研究者や愛好家との連携：実例と留意点</p> | <p>W20-01○宇賀神 篤 1, 2, 佐々木 哲彦 2(1.JT生命誌研究館, 2.玉川大・ミツバチ科学) フェロモンと受容体に対応づける新たなアプローチの探索—脱シラミ潰しのために—</p> | <p>W21-01○中林 ゆい 1, 大島 一正1, 2, 3(1.京都府大・院生命環境, 2.京都府大・新自然史セ, 3.京都府立植物園) アリ随伴性シジミチョウの分布拡大に伴う種間関係の変遷</p> |
| <p>W15-02○八瀬 順也 1(1.兵庫農技総セ) 遠くから飛んでくる害虫に殺虫剤抵抗性管理という考え方は通用するの？</p> | <p>W16-02○宮崎 智史 1, 栗原 雄太1(1.玉川大学) トビイロケアリの蟻居型コロニー創設：女王による“身を削った”子育て術</p> | <p>W17-02○星野 光之介 1(1.長岡市立科学博物館) 昆虫相解明に携わって見えてきたこと～地方博物館学芸員の立場から～</p> | <p>W18-02○田中 宏卓 1, 2(1.九大総合研究博物館, 2.愛媛大学・農) 最近のカイガラムシ分類研究の現状について</p> | <p>W19-02○藏満 司夢 1(1.筑波大学) 植物用殺菌剤による捕食寄生性昆虫の見えざる死：その普遍性と圃場での実態の検証(予報)</p> | <p>W20-02○河野 大輝 1(1.東京大院・理) ゲノム編集ミツバチの作出による成虫脳選択的に発現する遺伝子の機能解析</p> | <p>W21-02○岩井 碩慶 1, 2, 3, 河野 暢明3, 4, 古藤 日子1(1.産業技術総合研究所, 2.日本学術振興会特別研究員PD, 3.慶應義塾大学 先端生命科学研究所, 4.慶應義塾大学大学院) 一時的社会寄生種トゲアリ(Polyrhachis lamellidens)の寄生戦略</p> |
| <p>W15-03○清水 健 1, 根本 和俊2(1.千葉県農林水産部, 2.全農千葉県本部) 現場で取り組む飛来性害虫対策～シロイチやおオタバコを例に～</p> | <p>W16-03○下地 博之 1(1.琉球大学) アリのトイレ形成と隠れたトイレの機能</p> | | <p>W18-03○田端 純1, 2, 菅原 有真1(1.農研機構, 2.筑波大連携院) カイガラムシ類のフェロモンとその利用</p> | | <p>W20-03○峰 翔太郎 1, 野村 哲郎2, 横井 翔1, 木村 澄3, 畠山 正統1(1.農研機構, 2.京都産業大学, 3.プ ラチナバイオ) 有用形質をもつミツバチの系統樹立を目指して</p> | <p>W21-03○坂本 洋典 1(1.国環研) 昆虫写真家山口進氏が好蟻性生物研究に与えた影響</p> |
| | | | <p>W18-04○市岡 孝朗 1(1.京大院・人間・環境学) カイガラムシ-アリ共生系の生態学</p> | | <p>W20-04○末次 翔太 1(1.福岡大・理) ミツバチで検出される2種のFrischella属腸内細菌の、宿主との共生能力</p> | |

2024年3月30日(土)小中高生 ポスター発表 コアタイム【11:30～13:30】;表彰式【14:00～14:30】

| 講演番号 | タイトル | 発表者 | 所属 |
|-------|---|--------|----------------|
| PJ-01 | ナミアゲハの幼虫は擬態名人 | 米澤 翼 | 富田林市立富田林小学校 |
| PJ-02 | 葉の形状に基づくオトシブミの揺籃作成の規則性の検討 | 黒木 秋聖 | 関西学院中学部 |
| PJ-03 | バナナセセリ その不思議な生態にせまる Part4 ～ワックス分泌経路の探索～ | 眞榮城 綾香 | 沖縄県立球陽高等学校 |
| PJ-04 | チャイロスズメバチの乗っ取り行動とその後の営巣について | 塔野岡 達希 | つくば開成高等学校 |
| PJ-05 | アメリカザリガニのハサミ切断部位の違いが脱皮とハサミの再生に与える影響 | 小山 侑己 | 茨城県つくば市立竹園東中学校 |
| PJ-06 | キバネツノトンボの研究 ― 幼虫期について― | 内山 旬人 | 小美玉市立小川南中学校 |
| PJ-07 | ハエトリグモは命綱をどこに付けるのか | 小林 美優 | 東京都立科学技術高等学校 |
| PJ-08 | ミヤマクワガタの大アゴの形状変化と温度の研究 | 竹原 千尋 | 三田国際学園高等学校 |